

リアホナ



キリストへの
信仰に人々を
連れ戻す、
12ページ

聖なる森から学ぶ
4つの教訓, 24ページ

本当のクリスマスを
理解する, 36ページ

青少年の教科課程のために——
新しい改宗者を助ける方法, 50ページ



「感謝の精神は、
周りで起こっている
あらゆることを
超越します。
それは失望や落胆や
絶望に勝るものです。
氷で覆われた
冬の風景の中でも、
夏の気持ち良い
暖かな季節と同じように
美しい花を咲かせます。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトルフ管長
「どんな状況にあっても感謝する」
『リアホナ』2014年5月号、75



12

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
キリストの愛で世を満たす
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な使命
——平和の君

特集

- 12 キリストを信じる信仰を見いだせる
よう助ける
L・トム・ペリー長老
あなたは今、自分の信仰を強め、他の人々が救い主への堅固な信仰に立ち返れるよう助けることができます。
- 18 世界各地の開拓者たち——
スウェーデンにおける教会——
成長、移住、そして強さ
インゲル・ヘグルンド
数々の障害にもかかわらず、主はこの美しい国における御自身の業を速めておられます。
- 24 聖なる森から学ぶ教訓
マーリン・K・ジェンセン長老
木が生長するパターンを観察することを通して、永遠の真理にしっかりと根ざした者であり続けるための方法を学ぶことができます。
- 30 失われた500年——
マラキからバプテスマのヨハネまで
S・ケント・ブラウン、
リチャード・ナイツェル・ホルツアップフェル
旧約聖書の時代と新約聖書の時代の間の歳月に、どんなことが起きたのでしょうか。

36 本当のクリスマス

ゲアリー・E・スティーブンソンビショップ
ベツレヘムにお生まれになった幼子がまことの贖い主であられることをはっきりと認識しましょう。

シリーズ

- 8 わたしたちが信じていること——
神の王国の確立に役立つ十分な——
- 10 熟考——クリスマスの奇跡
リンゼイ・アルダー
- 11 旧約聖書の預言者たち——
マラキ
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
主が生きておられることを知っています
メルビン・J・バラード長老
イエスは復活された主です。わたしたち全てに、みもとに来るよう招いておられます。

表紙
表紙——
フォトイラストレーション/マシュー・ライアー
表紙裏——
画像の著作権/Johnér/offset.com.



44

44 あらゆる難問への答え

R・バル・ジョンソン

もし疑いがあなたの心に忍び込んで来たなら、これらの5つの原則を思い出してください。

今月号の中に隠れている
リアホナを捜しましょう。
ヒント—
動物たちはどのように
従順について
わたしたちに教えることができ
るでしょうか。



48 救い主と聖餐

デビッド・L・ベック

「わたしを記念するため、このように行いなさい。」 聖餐を定められたとき、主はそう言われました。

50 新しい改宗者になるというのはどのようなことでしょうか

ジョシュア・J・パーキー

新会員が教会に溶け込むのを助けるためにどんなことができるでしょうか。

54 質疑応答

教会の標準に従っているために学校でばかにされたときには、どうしたらよいでしょうか。

56 伝道地から—

天使は必要ありません

ジェニアン・ジェンセン・ニールセン

57 ポスター—

部屋を用意しなさい

58 わたしはどこにいるのか—

霊的な賜物と才能を見つけて伸ばす方法

マービン・B・アーノルド長老

わたしのおじは、古い金属片で何を作ることができたでしょうか。

62 どのように再臨に備えるか

ダリン・H・オクス長老

もし主と明日お会いすることが分かったら、あなたはどうしますか。

63 わたしのクリスマスの贈り物

ダスティン・ワード

わたしは8歳でバプテスマを受けましたが、教会に行っていませんでした。でも、あることでわたしの人生は永遠に変わりました。

64 前進する備え

リチャード・M・ロムニー

7人の12歳の子供たちが、初等協会から若い男性や若い女性に上がるのはどんなものか話してくれました。



67 特別な証人—

イエスは本当におなくなりになって、ふたたびよみがえられたのですか？

D・トッド・クリストファーソン長老

68 初等協会を かていでも—

わたしたちはすくいぬし イエス・キリストをおぼえ、れいはいします

エリン・サンダーソンとジーン・ビンガム

70 ヤンシー

ブレント・H・ニールソン長老

従順でさえあったなら、わたしたちの馬はすばらしい一生を送れたでしょう。

71 わたしたちの ページ

72 せかいの 友だち—
わたしは スウェーデンの ミーナです

エイミー・ジェーン・レビット

74 最初のクリスマス

ジェン・ウィルクス

このげきをえんじるとき、イエスが生まれになったときのことを考えましょう。

76 中を見てください！

ソフィア・C

77 旧約聖書に 出てくる人—
ダビデとゴリアテ

78 小さな みんなのために—
毎日 少しの クリスマス

ケート・ストロンギン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるが、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 950円(送料共)
普通号/大会号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ iahona.lds.org からお送りください。電子メールの場合は iahona@ldschurch.org へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。
Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書に由来する言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバーニア語、アルメニア語、ビスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィン語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトニア語、マダガスカル語、マレーシア語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2014 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:
December 2014 Vol. 38 No. 12. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「新しい改宗者になるというのはどのようなことでしょうか」50 ページ——この記事で会員たちが述べている改宗談について家族と話し合ってみてください。また、記事に挙げられた改宗者が直面する10の問題を読むのもいいでしょう。ワードまたは支部の新会員や教会へ戻って来た会員は誰か、家族と一緒に考えましょう。そして、そのような会員と友達になり、彼らが社会的、文化的な面で新しい環境に順応する強さを身につけ、霊的にも成長するように助ける計画を立ててください。

「わたしたちは すくいぬし イエス・キリストをおぼえ、れいはいします」68 ページ、「最初のクリスマス」74 ページ——今月号に載っている、クリスマスをテーマとした活動の多くのアイデアの一つを用いて、救い主の誕生を祝ってください。例えば、69 ページの四角で囲んだ箇所を切り抜き、このクリスマスの時季に、また一年を通して、救い主への愛を示す方法を家族で決めるとよいでしょう。また、74 ページに書かれた寸劇の台本を参考にして、イエスの降誕の場面を家族に演じてもらうのもよいでしょう。この二つの活動はどちらも、子供たちがクリスマスに救い主に心を向ける方法を学ぶのに役立つでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- | | | |
|--|--|-------------------------------|
| 愛する, 4, 40, 50 | 逆境, 24, 54 | 聖餐, 48 |
| 証し, 44 | 旧約聖書, 11, 30 | 聖典, 30 |
| イエス・キリスト, 4, 7, 12, 36, 48, 57, 67, 68, 74, 80 | クリスマス, 4, 10, 36, 40, 42, 43, 57, 63, 74, 76, 78 | 伝道活動, 12, 18, 50, 56, 76 |
| 疑い, 44 | 再臨, 62 | 背教, 30 |
| 改宗・改心, 42, 50, 63 | 死, 40 | 復活, 67 |
| 開拓者, 18 | 信仰, 12, 24, 44, 80 | 平和, 7 |
| 家族, 10, 40, 42 | 従順, 30, 54, 70 | 奉仕, 4, 10, 12, 41, 43, 56, 78 |
| 回復, 24 | 自分の一, 8 | 友情, 50 |
| 感謝, 10 | スウェーデン, 18, 72 | 霊的な賜物, 58 |



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

キリストの愛 で世を満たす

クリスマスについて思うとき、わたしたちはしばしば、贈り物をあげたり受け取ったりすることを思い浮かべます。贈り物は大事な伝統の一部として差し支えありませんが、それがクリスマスの純粋な尊厳を損ない、救い主の降誕を有意義な方法で祝うということから心をそらしてしまうこともあります。

わたしは個人的な経験から、最もつましいクリスマスが最も記憶に残るクリスマスとなり得ることを知っています。わたしの子供時代のプレゼントは、今日の標準からすれば確かにつましいものでした。繕った肌着や手袋や靴下をもらったこともあります。兄が自分で彫って作った木製のナイフをくれた、特別なクリスマスのことも覚えています。

クリスマスを有意義なものとするために、高価な贈り物は必要ありません。1987年から1992年まで七十人定員会会員として奉仕したグレン・L・ラッド長老が語ったある話を思い出します。何年も前にクリスマスを控えたある日、ビショップの倉を管理していたラッド兄弟は、ある宗務指導者から、最近町に引っ越して来た、助けが必要な家族について聞きました。ラッド兄弟は小さなアパートを訪ねてみて、それが10歳に満たない4人の子供を独りで育てる若い母親の家庭であることを知りました。

その家族はとても生活に困っており、母親はクリスマスに子供たちのためにごちそうもプレゼントも買うことができない状況でした。クリスマスツリーさえ買う余裕がなかったのです。ラッド兄弟はその家族と話しているうちに、3人の幼い女の子は人形や動物のぬいぐるみを欲しがっていることが分かりました。6歳の男の子に何が欲しいか尋ねると、おなかをすかせた幼い男の子は「ボウルにいっぱいのおートミールが欲しい」と答えました。

ラッド兄弟はその幼い男の子に、おートミールに何か他の物も添えてプレゼントすることを約束しました。それからビショップの倉に行くと、その家族の当面の必要を満たすために食べ物や生活用品を集めました。

まさにその日の朝、惜しめない心を持ったある末日聖徒がラッド兄弟に、「助けが必要などなたかのためにお使いください」と言って50ドルを渡していました。ラッド兄弟は自分の3人の子供にコートを着せると、クリスマスの買い物に連れ出し、その献金を使って、助けに必要なあの子供たちのためにおもちゃを選ばせました。

食糧と衣服、プレゼント、クリスマスツリー、それにツリー用の飾りで車をいっぱいになると、ラッド家の人たちはその家族のアパートに向かいました。アパートに着くと、母親と子供たちがツリーを飾るのを手伝いました。そしてツリーの下にプレゼントを置き、あの幼い男の子にはおートミールの大きな箱をあげました。

母親は涙を流し、子供たちは喜びました。そして全員でクリスマスの歌を歌いました。その夜、ラッド家族は夕食のテーブルに集まると、他の家族にクリスマスの喜びをもたらせたこと、幼い男の子がボウルにいっぱいのおートミールを受け取れるよう助けられたことについて感謝の祈りをささげました。¹

キリストと、与える精神

天の御父が御子の降誕を尊ぶために選ばれた、素朴ながらも威厳のある方法について考えてみてください。あの聖なる夜に、御使いたちは、金持ち^{みづか}にはなく羊飼いに現れました。幼子キリストは、大邸宅でお生まれになったのではなく、かいばおけに寝かされました。絹ではなく、布にくるまれました。



もし救い主が今日わたしたちの中におられたなら、わたしたちは主がいつもおられる場所で主を見いだすことでしょう。その場所で主は、柔和な人、落胆した人、へりくだった人、困窮している人、心の貧しい人に仕え、教え、導いておられるのです。このクリスマスの時期に、また常に、主が人を愛しておられるようにわたしたちも人を愛する、という贈り物を主にささげることができますように。主の降誕と贈り物、主の生涯に見られる謙虚な高潔さを、わたしたちがいつも心に留めることができますように。親切と慈愛と哀れみの心がこもった自然な行いを通して、この世を主の愛の光と癒やしの力で満たすことができますように。■

注

1. グレン・L・ラッド, *Pure Religion: The Story of Church Welfare since 1930* (1995年), 352 - 353 参照。グレン・L・ラッド, "A Bowl of Oatmeal," *Church News*, 2006年12月2日付, 16も参照

最初のクリスマスの質素さは、救い主の生涯を予示するものでした。主は地球を創造し、尊厳と栄光の中を歩み、御父の右に立っておられましたが、無力な子供として地上に来られたのです。主の生涯は、つつましい高潔さの模範でした。主は貧しい人、病気の人、落胆した人、重荷を負っている人の中に入って行ってともに歩まれました。

主は王でしたが、人の誉れも富も気に留められませんでした。主の生涯、言葉、日々の行いは、素朴ながらも深遠な高潔さの比類ない模範でした。

キリストであるイエスは、どのように与えるべきかを完璧に御存じで、与えるための規範をわたしたちに示されました。孤独と悲しみで心に重荷を負っている人々に、主は哀れみを示し、慰めをもたらされます。体や心が病気や

苦痛にさいなまれている人々に、主は愛を示し、癒やしをもたらされます。罪の重荷に苦しむ人々に、主は希望と赦し、^{ゆる} ^{あがな} 贖いをお与えになります。

このメッセージから教える

ウークトドルフ管長は、与える際の救い主の規範に従うよう教えています。訪問先の人たちに、救い主が与えてくださった^{たまもの}賜物を一つずつ挙げてもらうとよいでしょう。そして、その賜物を人に仕えるために用いる方法について話し合ってください。例えば、家族の一人が音楽の才能に恵まれていれば、その人は隣人にキャロリングをすることができます。訪問先の人たちとともにひざまずいて祈り、どの賜物を、どのように、誰と分かち合えるか靈感を求めすることもできます。与えられる靈感に従ってください。

このメッセージを青少年や子供に教えるためのアイデアについては、6 ページを参照してください。

他の人の経験から学ぶ

ワードルーフ管長は、個人的な経験から「最もつましいクリスマスが最も記憶に残るクリスマスとなり得る」と教えています。わたしたちは年配の人々から多くを学ぶことができます。大人の多くは戦争や失業、病気、その他の試練の時期を生き抜いてきました。ワードや支部の年配の会員に、最も有意義だったクリス

マスの経験について話してもらおうよう頼んでみてください。その経験を書き留めるとよいでしょう。このクリスマスの時季に、心から奉仕することによって、また救い主を覚えることにもっと心を向けることによって、彼らの模範から学ぶよう努めてください。

こども

イエス・キリストからの おくりもの

イエス・キリストがお生まれになったことをおいわいするために、クリスマスツリーをかざる人もいます。ツリーの下にプレゼントをおく人もいます。すくいぬしはあなたにどんなおくりものをくださいましたか。下のせいくを一つ一つ読んで、おくりものに色をぬりましょう。人人をたすけるほうほうをさがして、イエスさまにおくりものをおかえしすることができます。



祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 平和の君

本記事は、救い主のさまざまな使命に
焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの
一環です。

十二使徒定員会のクエンティン・
L・クック長老はこう述べて
います。「救い主は真の平安の源
です。人生のさまざまな試練にもか
かわらず、救い主の贖罪とその恵み
のおかげで、義にかなった生活をす
ることにより個人の平安が報いとし
て与えられます。」¹ イエス・キリスト
が平和の君であられることを理解す
ることによって、わたしたちは心の
平安を見だし、キリストを信じる
信仰を深めることができます。

イエス・キリストはこのように述べ
ておられます。「これらのことをあな
たがたに話したのは、わたしにあっ
て平安を得るためである。あなたが
たは、この世ではなやみがある。し
かし、勇気を出しなさい。わたしは
すでに世に勝っている。」(ヨハネ
16:33) 中央扶助協会会長会第二
顧問のリンダ・S・リーブズ姉妹は、
その真理について次のように証して

考えてみましょう

救い主はどのような方法であなたの
生活に平安をもたらしてくださっ
ているでしょうか。



います。「主はわたしを憐れみ、
重荷が軽くなるようにしてくださいま
した。……深い平安を感じられる
ようにしてくださいました。」²

十二使徒定員会のリチャード・
G・スコット長老はこのように教え
ています。「平安を得るための理想
的な場所は家庭です。それは主
イエス・キリストを中心とした生活
をするために最善を尽くしてきた場
所です。」³

その他の聖句

イザヤ 9:6; ルカ 2:14; ヨハネ 14:
27; 1 ニーファイ 13:37; 教義と聖約
59:23

注

- クエンティン・L・クック「個人の平安——義の報い」『リアホナ』2013年5月号, 35 参照
- リンダ・S・リーブズ「聖約の祝福を受けましよう」『リアホナ』2013年11月号, 120 参照
- リチャード・G・スコット「平安に満ちた家庭を築くために」『リアホナ』2013年5月号, 29

信仰・家族・扶助



聖文から

イザヤは平和の君であられるイ
エス・キリストの降誕について預
言しました(イザヤ9:6 参照)。
アメリカ大陸では、レーマン人サム
エルが5年後のキリストの降誕に
伴うしるしについて語りました(ヒ
ラマン 14:3, 5 参照)。このよう
に預言された日が近づくにつれて、
不信者たちは、これらのしるしが
成就しなければ全てのキリスト
教徒を殺すと脅しました。預言者
ニーファイはこう述べています。
「終日熱烈に主に叫び求めた。す
ると見よ、主の声が彼に聞こえて言わ
れた。……明日、わたしは世に来
る。」(3 ニーファイ 1:12-13)
預言されたしるしが現れ、キリスト
がお生まれになり、「民はその地に
再び平和を保つようになった」の
です(23 節)。

ベツレヘムでは、マリヤが「初子
を産み、布にくるんで、飼葉おけの
中に寝かせ」ました(ルカ 2:7)。

神の王国の確立に役立つ 什分の一

わたしたちは主の王国の確立に役立てるよう収入の10分の1を主にささげることが正しいことだと信じています。什分の一の律法に従う者は、一層大きな霊的的祝福にあずかるためにいくらかの物質的な財産を犠牲にするよう求められます。

什分の一の原則は、福音が地上で初めて教えられたとき以来ずっと実践されてきました。例えば、アブラハムは大祭司メルキゼデクに什分の一を納めました(創世14:18-20参照)。主はモーセに什分の一について民に教えるようお命じになりました(レビ27:30-34参照)。後に、救い主はニーファイの民を訪れられたとき、什分の一の律法をお授けになりました

(3ニーファイ24章参照)。また現代では、預言者ジョセフ・スミスを通してこの戒めを回復されました(教義と聖約119章参照)。

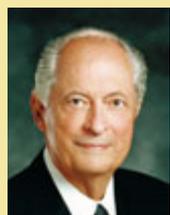
この戒めを守るために、わたしたちは地元の神権指導者を通して収入の10分の1を主にささげます。この基金は教会本部へ送られ、本部では大管長会、十二使徒定員会、管理ビショップリックから成る評議会がこの神聖な基金をどのように使うかを決定します(教義と聖約120章参照)。

教会は什分の一基金を使い、神殿や集会所の建築と維持管理、セミナー/インスティテュートの運営、教会員への資料提供、伝道・神殿・家族歴史活動を行っています。

わたしたちは進んで什分の一を納めることが大切だと思っています。「神は喜んで施す人を愛して下さる」のです(2コリント9:7)。什分の一を納めることは、地上に神の王国を築くのを助け、わたしたちが持っている全てのものを祝福してくださった天の御父に感謝の気持ちを示す一つの方法です。さらに、什分の一を納めることにより、わたしたちの生活は一層多くの祝福で満たされます。マラキはこう教えています。「わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。」(マラキ3:10)たとえ少額であっても、正直に什分の一を納める全ての人に霊的、物質的な祝福が与えられるのです。■

さらに詳しくは、創世28:20-22、マラキ3:8-11、『歴代大管長の教え——ロレンツ・スノー』12章を参照してください。

什分の一を納めることの祝福



「什分の一は信仰を増し、信仰を試します。自分に必要だと、または不足していると思うものを犠牲として主にささげると、主を信頼できるようになります。

主を信じる信仰があれば、神殿の聖約を守り、永遠にわたる神殿の祝福を受けられるようになります。……

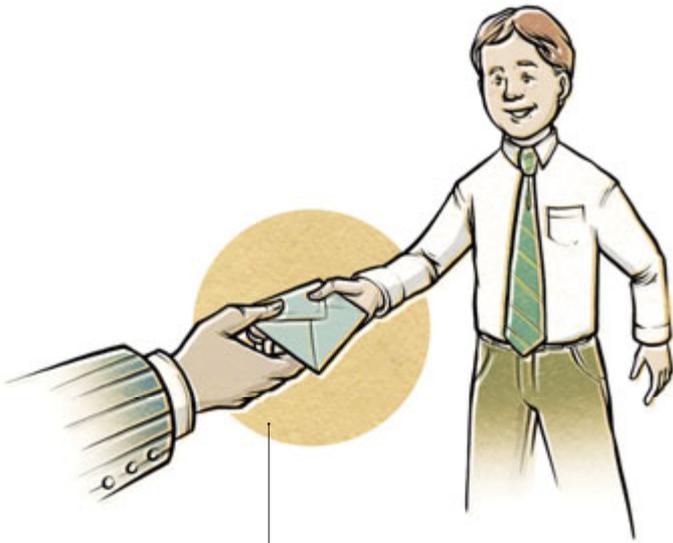
また什分の一を守ることによって、この

世のものへの欲望や情熱を抑制できるようになります。什分の一を納めるなら、隣人との交際に正直でありたいと思うようになります。自分の必要は、自らの勤勉な努力と主の祝福によって与えられたもので十分に満たされると確信できるようになります。……

忠実にそして正直に什分の一の律法に従う者には豊かな祝福を与えると主は約束しておられます。祝福の一部はこの世に関わるものです。什分の一がこの世に

関わるのと同じです。けれどもバプテスマや聖餐という物質的な外形を取る儀式と同じように、什分の一の戒めにもこの世のものを犠牲にすることが求められます。そのような犠牲から、最終的には霊的な素晴らしい祝福がもたらされるのです。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「什分の一——永遠の祝福を伴う信仰の試し」
『リアホナ』2002年11月号、26-27参照



什分の一とその他の献金は、
地元のビショップリックまたは
支部会長会を通して
主にささげられます。

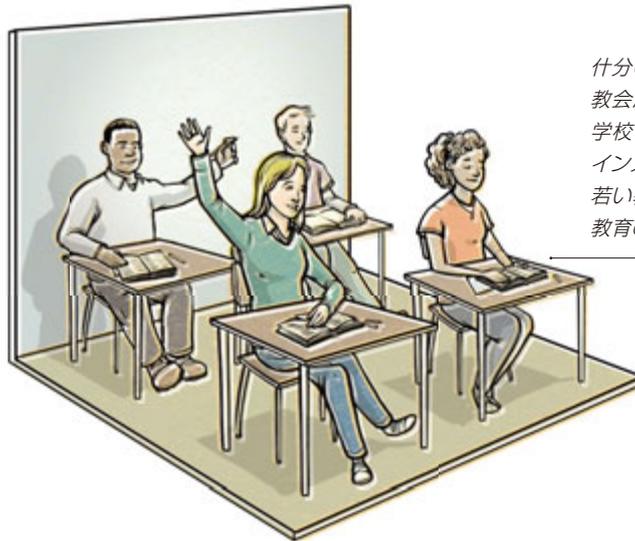


什分の一は
神殿や集会所の
建築・維持管理に
使われます。



什分の一は
聖典やレッスン資料の
翻訳・出版に使われます。

什分の一基金は教会本部へ送られ、
本部では大管長会、十二使徒定員会、
管理ビショップリックから成る評議会が
この神聖な基金を
どのように使うかを決定します。



什分の一は
教会が運営する
学校やセミナー／
インスティテュートに通う
若い教会員の
教育のために使われます。

クリスマスの奇跡

リンゼイ・アルダー

夫の心臓の鼓動はなお続いています。

心臓発作の前ほど強くはありませんが、それでも脈を打っているのです。



今夜、わたしは心に安らぎを感じています。確かに、傷つき、打ちのめされ、引き裂かれてはいますが、とても安らかなのです。わたしは感謝の気持ちでいっぱいです。とても深い感謝に包まれ、あたかも魂に新たな空間が設けられて感謝の部屋ができたかのようです。胸に深く広がる非常に個人的な感謝の念により、涙が静かにとめどなく頬を流れます。夫は呼吸をしています。わたしにはその深くて柔らかな息遣いが聞こえます。

ほんの数時間前、わたしは、もうすぐ生まれてくる赤ちゃんがわたしの

おなかを優しく蹴るのをよそに、夫が横たわっている病院のベッドに身をかがめ、夫の胸に取り付けられた全てのワイヤーの間に小さな空間を見つけ、そこにわたしの頭をそっと乗せました。耳を当てて夫の心臓の鼓動を聞くことは、記憶に永遠に残る経験となりました。

夫の心臓の鼓動はなお続いています。心臓発作の前ほど強くはありませんが、それでも脈を打っているのです。

今夜、クリスマスのデコレーションライトの温かな光が部屋に広がり、

いろいろな意味でわたしの心を落ち着かせてくれています。その柔らかな光が安らかな雰囲気醸し出しているのですが、本当に安らかな気持ちを感じたのは、夫のブライアンが集中治療室から出たときに、真の友人たちが喜んでクリスマスイブの計画を取りやめて病室を飾り付けに来てくれたことが分かったからです。窓際に立つ1メートルのクリスマスツリーは、その友人たちの愛の証^{あかし}なのです。

彼らにどう感謝したらいいのでしょうか。わたしがどれほど彼らを必要とし、どれほど彼らに感謝しているかを彼らが知ることはあるのでしょうか。わたしが夫のことしか考えられないとき、彼らはわたしの子供を愛し、わたしの家を掃除し、冷蔵庫の中身を補充し、洗濯をし、わたしたちのクリスマスプレゼントを包んでくれました。そしてわたしを抱き締めること、夕食、ギフト券、現金、電話、携帯メール、電子メール、伝言、シナモンの香りがする松かさの入った袋、スーツケースいっぱいのクリスマスの装飾品などによって、わたしに愛を示してくれました。一緒に涙を流し、祈り、断食してくれました。そうすることによって、貴重な時間という最高の贈り物をわたしにくれたのです。わたしは彼らを皆心の底から愛しています。

今夜、わたしはよく眠れると思います。なぜなら心が彼ら全員に対する尽きることがないほどの感謝の気持ちで満たされているからです。

しかし何よりも、わたしは夫に命があることを主に感謝しています。深い呼吸、心臓が送り出す血液、そして生きている体と魂に。夫に命があることは、わたしにとってクリスマスに起きた奇跡なのです。■

筆者はアメリカ合衆国ノースカロライナ州在住です。

マラキ

「[イエスは御父がマラキに与えられた]御言葉を書き記すように、彼らに命じられた。」

(3ニーファイ24:1)

わたしは名前が「わたしの使者」という意味であり、主の使者として、「イスラエルに臨んだ主の言葉の託宣」を伝えました。¹ わたしが生きていた時代はキリスト降誕の約450年前です。² 当時、多くのユダヤ人は気落ちして、義にかなった生き方をしなくなっていました。³ 主はそんな彼らを、わたしの教えを通して叱責されたのです。

レビ族出身のユダヤ人祭司たちは、通常熱心に儀式を行っていましたが、わたしの時代のレビ人は腐敗していました。彼らは感謝することを知らず、神を尊ぶことを拒み、汚れたパンと傷のある動物を犠牲としてささげていたのです。⁴ 彼らは、神がレビ族と交わされた神権の聖約を破っていました。

祭司だけでなく、民も腐敗していました。若いときに結婚した妻を離縁して、聖約を交わしていない民と結婚し、什分の一とささげ物をささげることが拒否していたのです。⁵

しかし主は、このような悪い慣習をやめる

よう言いながらも、民を愛していましたから、喜んで赦すおつもりでした。「わたしに帰れ、わたしはあなたがたに帰ろう」と言われたのです。⁶ 主に立ち返る方法の一つは、什分の一全部を倉に携えて行くことでした。⁷

人々は「神に仕える事はつまらない。……悪を行う者は榮える」とつぶやきましたが、⁸ わたしは、「主を恐れる者、およびその名に心に留めている者」の名は「覚え書」に記されたと教えました。⁹

わたしはまた、主の再臨の時、悪人は「わらのようになる」が、主の名を

恐れる者には「義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている」と預言しました。¹⁰

再臨の前には、預言者エリヤが来て、「父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる」神権の鍵を回復すると、わたしは預言しました。¹¹

わたしの教えを通して、主がその民を覚えておられ、忠実な主の子供たちへの約束を守られることを人々は知ります。主はこれらの約束を信じ、悔い改めて主に立ち帰るようわたしたちに望んでおられるのです。¹² ■



注

- マラキ1:1
- 『聖句ガイド』「マラキ」の項、249参照
- セミナー『旧約聖書 生徒用学習ガイド』193参照
- マラキ1:2、6-14参照。Old Testament Instructor's Guide, Religion 301-302 (1994年)、109-110も参照
- マラキ2:11、14-16; 3:8参照
- マラキ3:7
- マラキ3:10。リグランド・リチャーズ「キリストの再臨」『聖徒の道』1978年10月号、117も参照
- マラキ3:14-15
- マラキ3:16
- マラキ4:1-2
- マラキ4:6。教義と聖約110章も参照
- セミナー『旧約聖書 教師用引き』215参照

PHOTO: PAUL VAKRUSHEV/ISTOCK/THINKSTOCK; ナンパシメの絵画 AKSPHOTO/ISTOCK/THINKSTOCK



十二使徒定員会
L・トム・ペリー長老

キリストを信じる信仰 を見いだせるよう助ける

神の子らがクリスチャンの信仰に立ち返れるよう、
そして、心の平安と真の幸福を得るために欠かせない
堅固な宗教基盤に立ち返れるよう助けましょう。

□ ーマ法王ベネディクト 16 世はヨーロッパやオーストラリア、合衆国においてキリスト教の諸教会が弱体化していることを嘆いてこう語りました。「神を必要とする兆しが見られなくなっています。キリストについてはなおさらです。いわゆる伝統的な教会は瀕死の^{ひんし}様相を呈しています。」¹

人々は伝統的な礼拝から離れてしまいました。多くの方が自分は宗教的でなくスピリチュアル〔靈的〕なのだと言います。教えが自分の生活様式に合っていれば受け入れ、彼らの信仰に加えられますが、そうでないと、彼らは自分に都合のいい信仰を築き上げていきます。信仰と霊性は今や消費者の好みに合わせた製品と化しているのです。物質主義が神に取って代わりました。

人類の信仰を崩壊させることになるこれらの危険な風潮に対して、末日聖徒であるわたしたちは反対の声を上げなければなりません。神に対する信頼を、朽ち果てるものに置き換えることについてモルモン書は何度も警告しています。多くのニーファイ人が信仰から離れていった時代についてモルモンは次のように言っています。「彼らは非常に豊かに富を持つようになったために、心の中で高ぶり、次第に高慢になった。そのため、彼らはますます富に目を向けるようになり、また、神の前をまっすぐに歩むようにという、〔預言者たち〕の言葉を心に留めようとしなくなった。」(アルマ 45:24)

**全歴史の中で
最もすばらしい
出来事の記録は、
主イエス・キリストが
地上に生まれて
その使命を果たされた
という記述です。**





**この地上に犠牲が
福音の儀式という形で
定められました。**

**この儀式は
神権の権能によって
執り行われ、
世の罪のために
御自分の命をささげる
神の御子の犠牲を
象徴するものでした。**

社会の中でクリスチャンの信仰が弱まっていくのを目にしている今、わたしたちは自分の信仰を一層堅固で確かなものにならなければなりません。ヒラマンはこう言っています。「あなたたちは、神の御子でありキリストである贖い主の岩の上に基を築かなければならないことを覚えておきなさい。そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の電と大風ひょう おおあらしがあなたたちを打つときにも、それが不幸と無窮の苦悩の淵ふちにあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、

人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」(ヒラマン5:12)

ニーファイはこう言いました。

「わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言し、また、どこに罪の赦しゆるを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるために、自分たちの預言したこと〔と、キリストの内にある命について〕書き記すのである。

……正しい道とは、キリストを信じること……である。」(2 ニーファイ25:26-28)

わたしたちはこのような主張を支える基を築いているでしょうか。

キリストの犠牲の象徴

全歴史記録の中で最もすばらしい出来事は、主イエス・キリストが地上に生まれてその使命を果たされたという記述です。主の使命は、わたしたちの始祖の時代から預言されていました。モーセ書には、次のように書かれています。

「アダムとその妻エバは主の名を呼び、エデンの園の方向から彼らに語る主の声を聞いた。しかし、主を目にすることはなかった。彼らは主の前から締め出されていたからである。

主は彼らに、主なる彼らの神を礼拝し、主へのささげ物として群れの初子をささげると戒めを与えた。アダムは主の戒めに従順であった。

多くの日の後、主の天使がアダムに現れて言った。『あなたはなぜ主に犠牲をささげるのか。』そこで、アダムは彼に答えた。『わたしには分かりません。ただ、主がわたしに命じられたのです。』

すると、天使は語って言った。『これは、御父の、恵みと真理に満ちている独り子の犠牲のひながたである。

したがって、あなたが行うすべてのことを御子の御名によって行いなさい。また、悔い改めて、いつまでも御子の御名によって神に呼び求めなさい。』(モーセ5:4-8)

この地上に犠牲が福音の儀式という形で定められました。この儀式は神権の権能によって執り行われ、世の罪のために御自分の命をささげる神の御子の犠牲を象徴するものでした。

儀式の形式は、時の中間においてになる主の犠牲を具体的にかたどっていました。例えば、後に行われた過越のささげ物は、染みと傷のない1歳の雄の子羊を選ぶと規定されていました。血は流され、骨が折れないように注意を払いました。全ては救い主の死を象徴していたのです。

アダムから救い主の時代までずっと犠牲がささげられてきたことは驚きに値します。イスラエルの子らが背教の時代を幾度も経験してきたにもかかわらず、神の独り子が人類の罪を贖ってくださり、その贖いの血によって不死不滅が実現されるという希望は、多くの人々の心にあったのです。

犠牲をささげる慣習は、救い主の贖罪の後に終わりました。そして、主が地上に来て、地上での務めを成し遂げられたことを主に従う者たちが覚えていられるように、聖餐が定められました。ルカによる福音書には次のように記されて

います。

「またパンを取り、感謝してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、『これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい。

食事ののち、杯も同じ様にして言われた、『この杯は、あなたがたのために流すわたしの血で立てられる新しい契約である。』』(ルカ22:19-20)

イエス・キリストの福音が回復され、聖なる救いの儀式を執行する神権の力が再び地上にもたらされるまでの間、背教という暗黒の時代があったにもかかわらず、この記念の儀式が幾世代にもわたってさまざまな形と方法で実施されていたということにも、わたしは驚きを覚えます。

歴史記録のあらゆる時代に、救い主の使命を思い起こさせる記述があります。救い主は、神の子であり人の子でもあるという二重の存在として地上に來られました。贖罪を通してあらゆる人のために偉大で気高い犠牲をささげることがおできになったのは、このためです。主は、この世の全ての神権時代において、主の救いの教義を明らかにされました。それを研究して実践すること以上に、イエスがキリストであり、世の救い主であられることを確実に立証する方法があるでしょうか。主が福音を与えてくださったのは、地上でのわたしたちに旅路を示し、導かれるためでした。

解決する手段は福音である

デビッド・O・マッケイ大管長(1873-1970年)はこう語りました。

「世界の抱えている問題をイエス・キリストの福音が解決することを示す責任は、それを主張している人々にあります。……わたしは、イエス・キリストの福音の原則に従うことにより世の全ての問題が解決するとも信じています。

世界の数々の大きな問題を解決する手段はこのイエス・キリストの教会にあります。個人の必要だけでなく、国民と複数の国民に対応するための準備が十分に整えられています。……わたしたちは優れた知恵があると自称しているように見えるかもしれませんが、そうではありません。神の計画に世の問題を当てはめているだけなのです。世界の歴史において特に独創的とも言えるこの時代、神権者には、教会がかつて経験したことのない大きな責任が課せられています。繰り返します。もしわたしたちが真理を持っている

と主張するなら、そのように生活する義務が全ての末日聖徒にあります。福音の木の実を味わいなさいという呼びかけに応じてやって来る世の人々が、福音が有益で良いものだと
いうことを知ることができるようにするのです。」²

わたしたちが世界に携えて行く大いなるメッセージは、わたしたちの主なる救い主の福音が再び地上に回復された
ということです。主の教会は聖なる神権の力と栄光とともに
再び地上に置かれています。

神権に聖任された人は主の代理人となる権能を持ち、
教義、儀式、原則、また天と地において結び固める力が与え
られています。この教会は救い主の教会であって、主が御自
身で選んだ預言者たちを通して教会の諸事を指示しておら
れます。そして預言者は人々に福音を教え、イエス・キリスト
が救い主であり贖い主であられることを証します。今は、時
の初めから預言者たちによって語られてきた時満ちる神権
時代であり、主の預言者たちが語り聖典に記録されたあら
ゆることが成就する時代です。末日聖徒イエス・キリスト教
会は新しい教会ではなく、この時代に回復された教会なの
です。

皆さんはこの時のために主が取っておかれた世代です。
人々がこの世の方法を捨てて、主に従い主の福音に従って
生活することを条件に約束されている祝福に心を向ける
よう、主に代わって人々を助けるという聖約と約束とともに皆
さんはバプテスマの水をくぐりました。天の御父の子供たち
がクリスチャンの基盤に立ち返り、主への信仰を育み、主の
道に戻れるよう助けることができるのです。

あなたにできること

「ではどうしたらよいのですか」と、皆さんは尋ねるかも
しれません。数か月前の聖餐会^{せいさん}でわたしたちのステーク
会長は、人をクリスチャンとしての信仰に立ち返らせるため
にわたしたちにできることを4つ、提案しました。

1. 毎日祈る。

トーマス・S・モンソン大管長はこう言っています。「この
話を聞いている、大小さまざまな試練と闘っている皆さんに
お伝えします。祈りは霊的な強さの源であり、……祈りは、
わたしたちを愛してくださっている天の御父に近づく手段
です。祈りの中で御父に話しかけ、答えに耳を傾けてくだ

さい。奇跡は、祈りを通してもたらされるのです。……心を
込めて祈ることを覚えてください。」³

毎日個人の祈りをささげましょう。そのうえで、ひざまず
いて神に祈るよう勧めることによって、人々がクリスチャンと
しての信仰に立ち返ることができるよう助けましょう。

2. 毎日聖文を研究する。

イエス・キリストについて、モルモン書に見られる証以上
に力強い証があるでしょうか。モルモン書の239章のうち
233章は救い主について述べられています。⁴ 驚くべきこと
ではないでしょうか。

皆さん自身が毎日聖文を研究しましょう。そのうえで人々
に毎日聖文を研究するよう勧めることによって、彼らがクリス
チャンの信仰に立ち返ることができるよう助けましょう。

3. 神殿に参入するふさわしさを保つ。

皆さんの中には、神殿に入ったことのある人もいれば、
まだ入っていない人もいます。神殿推薦状を取得するには何
が求められるかを理解しておくといよいでしょう。イスラエル
の判士のもとに行って有効な神殿推薦状を受けるにふさわ
しいことを確認するという過程をはっきりと理解し、そして
推薦状を持つ人に求められている標準に従って生活するの
です。

義にかなって生活することにより、神殿の祝福にふさわ
しく生活する模範を示しましょう。

4. 毎日奉仕する。

ベニヤミン王の言葉を思い起こしてください。「そして見
よ、わたしがこれらのことを語るのは、あなたがたに知恵を
得させるためである。すなわち、あなたがたが同胞のため
に務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務
めるのであるということを悟らせるためである。」(モーサヤ
2:17) 主は、人々に対するわたしたちの奉仕を通して、
文字どおり祈りにこたえてくださるのです。

キリストのように仕える模範となりましょう。そして、同胞
に奉仕するよう人々に勧めることによって、彼らがクリスチャ
ンとしての信仰に立ち返ることができるよう助けましょう。



新たな決意をする

わたしは神が生きておられることを知っています。わたしたちは皆御父の子供であって、御父に愛されていることをわたしは知っています。御父は全人類の贖いの犠牲として、この世に御子を送って下さいました。主の福音を受け入れて主に従う者は、神のあらゆる賜物たまものの中で最も大いなるものである永遠の命を得ることができることをわたしは知っています。救い主の指示により、預言者ジョセフ・スミスの働きを通じて福音が再び地上に回復されました。死すべき生涯において見いだすことができる唯一の永続的な喜びと幸福は、イエス・キリストに従い、その律法に従い、主の戒めを守ることによってもたらされることをわたしは知っています。

新たな決意をするよう皆さんに求めたいと思います。神の子供たちがクリスチャンの信仰に立ち返れるよう、そして、この試しの生涯で

心の平安と真の幸福を得るために欠かせない堅固な宗教基盤に立ち返ることができるよう助けましょう。

主なる救い主の福音を信じる信仰をこの世に取り戻す勇氣、大胆さ、熱意、意欲が神から皆さんに与えられるよう、願っています。■

2011年3月6日にブリガム・ヤング大学で行われた教会教育システムファイヤサイド「わたしたちは最も大いなる世代でした」から。全文は cesdevotionals.lds.org から日本語を選択し、「過去のデイボーションナルを視聴する」、「2011」の順でクリックすれば、ご覧いただけます。

注

1. ローマ法王ベネディクト16世、ノエラ・ノックス, Religion Takes a Back Seat in Western Europe, USA Today, 2005年8月10日付, usatoday.com/news/world/2005-08-10-europe-religion-cover_x.htm より引用
2. デビッド・O・マッケイ, Gospel Ideals (1953年), 5。強調は原文のまま。
3. トーマス・S・モンソン大管長「最高の自分になる」『リアホナ』2009年5月号, 68
4. ロバート・J・マシューズ, The Book of Mormon: The Keystone Scripture, ポール・R・チースマン他編 (1988年), 33 参照

イエス・キリストについて、**モルモン書に見られる証あかし以上に力強い証があるでしょうか。**
モルモン書の239章のうち233章は救い主について述べられています。



スウェーデン

における教会—— 成長, 移住, そして強さ

スウェーデンにおける教会は、
忠実な会員の移住、批判的なメディア報道、
そしてますます増大する世俗的な環境に耐えてきましたが、
主はこのえり抜きの地で御自身の業を速めておられます。

インゲル・ヘグルンド

1849年にブリガム・ヤング大管長は少数の男性を召し、福音を宣べ伝えるために世界の各地に派遣しました。かつてスウェーデンの船乗りであったヨン・フォーシュグレン兄弟は、アメリカ合衆国マサチューセッツ州で教会に加わり、ソルトレーク盆地まで足を運んで、自分を宣教師としてスウェーデンに送ってくれるようにヤング大管長に願い出ました。彼は奉仕するように召され、1850年6月にスウェーデンに到着しました。

最初にフォーシュグレン長老は、イエブレに住んでいた自分の弟や妹を訪問しました。当時、弟のペーテルは病に伏して、医者は手の施しようがないと言いました。フォーシュグレン長老は、家族に伝道の目的を説明した後で、ペーテルに油を注いで祝福をしたところ、彼は完全な健康を取り戻しました。1850年7月19日に、ペーテルはフォーシュグレン長老からバプテスマを受け、スウェーデンで最初の改宗者となりました。

フォーシュグレン長老の妹のエリーカは、自分とペーテルが福音を受け入れる備えとなる興味深い経験をしました。兄が到着する数か月前、いつもの習慣で教会に出席して

いました。賛美歌を歌っている間、彼女の前に一人の人が立っているのが見えて、その人はこう言ったのです。「7月5日に一人の男性が3冊の本を持ってあなたのところに来るでしょう。そしてその本に書かれていることを信じる全ての人には救われるでしょう。」兄が聖書とモルモン書、教義と聖約を持って到着したとき、疑うことなく兄の証を信じました。¹

残念なことに、フォーシュグレン長老はちょうど3か月後にスウェーデンを離れなければなりませんでした。それから数年のうちに、別の宣教師がスウェーデンに派遣されました。長老たちは、スコネ地方ショーナベックで福音を受け入れる人を見いだしました。非常に多くの人が改宗したので、1853年に36人の会員で最初の支部が組織されました。スコネ地方で最初の指導者の一人であるカール・カブソン兄弟は、ルンドの支部会長に召されました。およそ100人の会員がカールの納屋で開かれた最初の教会の大会に出席しましたが、迫害を避けるためにその大会は夜中に開かれました。²

信仰深い女性たち

福音を受け入れた女性たちは、スウェーデンで教会を支え



1950年代に、ベストロースの会員はこの家で集会を開いた。

言ったものです。「神をお待たせしてはいけません。」彼女は一人で賛美歌を歌い、祈りをささげ、短い話をし、そして閉会には別の賛美歌を歌って祈りました。

列車でストックホルムに行く機会があると、ムンテル姉妹は教会の出版物を配ったものでした。彼女の信仰の受け継ぎは続いています。子孫の数人が宣教師としてスウェーデンに派遣されたのです。³

宣教師はダーラナ地方のスメディエバックケンも訪れました。多くの人が改宗した中で、1886年にヤンソン家族が教会の会員になりました。その子孫であるレイド・ヨンソン兄弟は、第二次世界大戦の後に宣教師としてスウェーデンに到着しました。伝道の後に数回スウェーデンに戻って来て、伝道部会

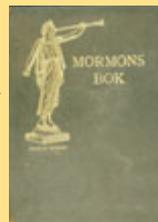
歴史年表

1850年——
最初の宣教師
ヨン・フォーシュグレンが
スウェーデンに到着する。
最初の改宗者ペーテル ▶
とエリーカ・フォーシュグレン
がバプテスマを受ける。



1853年——
最初の支部、
ショーナベック支部が
会員36人で
開設される。

1854年——
ストックホルム支部
が開設される。



◀ 1878年——
スウェーデン語で
モルモン書が
翻訳され印刷される。

▶ 1904年——
スバルテンスガータン3
という住所で知られる
場所で、スウェーデンで
最初の教会建物が
購入される。
(写真は1946年に撮影)

る強固な柱となりました。その一つの例がブリッタ・オルスドッテル・パーション姉妹で、ビンオーケルで最初に福音を受け入れた女性でした。1877年に、彼女は家族の生活を支えるため、自分で作った織物を売りにストックホルムに出かけました。そこで宣教師と出会い、彼らが真理を教えていることをはっきりと理解し、50歳のときにバプテスマを受けました。

彼女の改宗と、主の業を推し進める忠実な働きにより、やがて多くの人々がバプテスマに導かれ、ついにはビンオーケルに支部が設立されました。彼女の子孫は今でも教会に活発です。パーション姉妹の玄孫であるライラ・クリールボーンけんそん姉妹はこのように述べています。「子供や孫の世代に起きていることを目にするのはすばらしいことです。現在、わたしたちの家族には神権者と宣教師が何人もいます。」

もう一人の女性開拓者はウプサラのロビーサ・ムンテル姉妹です。1886年に会員になり、91歳でこの世を去るまで信仰を守り通しました。日曜日にはよく集会所に行き、明かりをつけて、他の会員が来るのを待っていましたが、誰も来ないことがよくありました。午前11時になると、こう独り言を

長、地区代表、神殿会長として奉仕しました。預言者の妻であるフランシス・モンソン姉妹もこのヤンソン家族の子孫です。

迫害を克服する

何十年もの間、教会員に対して激しい迫害がありました。派遣された宣教師の多くが投獄されました。その中にスウェーデン生まれのミカエル・ヨンソン長老がいました。彼は1852年に逮捕され、鎖につながれて770キロ離れたマルメに連行され、城の牢獄に幽閉されて飢えと窮乏ですっかり疲れ果ててしまいました。ヨンソン長老を訪れた一人の牧師は、彼が教養のある賢い人間であることを知りました。牧師は喜んで彼を助け、さらなる教育さえも約束すると言明しました。しかし、それには「モルモン教」を否定してルター派の信仰に入る条件がついていました。ヨンソン長老は自らの信仰を否定しなかったため、スウェーデンから追放されました。⁴

もう一人の忠実な宣教師は、1857年にベネルシュボリの近くで生まれたカール・A・カールキスト兄弟でした。17歳のとき、福音を宣べ伝えたいという強い気持ちに駆ら

ペーテル・フォーシュグレンの写真、スーサン・リースト・ブラックの厚意により撮影

れ、ヨンショーピン近辺で教会の出版物を配るよう召されました。彼は貧しく、支部の会員も貧しかったので、7人の寡婦とその子供たちが彼のために背広の上着とブーツを手に入れてきました。冬が来てもカールは自分のオーバーを持たず、会員の何人かから許可を得て、彼らの着ない間に毎日数時間オーバーを借りました。⁵

カールはその後ユタ州に移住し、スウェーデン人移民であったフルダ・エステルグレン姉妹と結婚しました。スカンジナビア伝道部会長の召しを含め、さらに2回スウェーデンに伝道に行きました。最後の伝道は、教会に対する虚偽の報告を正すことに多くの時間が費やされました。かつてソルトレイク・シティに住んでいたP・E・オースレブ牧師が、

です。今日、その移住の結果を見ることができます。ユタ州住民の約半数が北欧の国々にルーツを持つ人たちです。

しかし、1910年にジョセフ・F・スミス大管長がストックホルムを訪れ、会員たちがスウェーデンにとどまって教会を築くように励ましました。

第二次世界大戦後の教会

第二次世界大戦が勃発したとき、アメリカ人宣教師は全て本国に帰還しなければなりません。その後、地元のスウェーデン人男性が宣教師として奉仕するように求められました。1931年に教会に加わったC・フリッツ・ヨハンソン兄弟は新しい伝道部会長に召されました。この戦争が始まる1年



▶ 1905年——
スウェーデン
伝道部が
組織される。



1914年——
スウェーデンの
国会議員が、自国から
「モルモンの代表者」を
追い出す提案に
反対票を投じる。

1926年——
教会は、教会員の
埋葬を行うための
法的な認可を
受ける。

1952年——
新しい法律により、
非国営教会に対して
自由が保証される。
教会は、会員の結婚を
執り行う法的な認可を
受ける。

スウェーデンにおいて反モルモン感情をあおるために雇われていたのです。オースレブ牧師は、『スベンスカ・ダーグブラデット』(Svenska Dagbladet) 新聞に記事を書き、カールクイスト兄弟のことを一夫多妻主義者であると主張しました。⁶ カールは、国王のグスタフ5世と面会したり、公的な集会でオースレブ牧師の主張を否定したりして尽力しました。⁷

オースレブ牧師との論戦を支援するために、地元の会員であるエイネル・ヨハンソン兄弟が教会の弁護を買って出ました。オースレブ牧師が教会の伝道本部は「白人奴隷の売買業」をしていると中傷していたので、ヨハンソン兄弟は訴訟を起こしました。⁸ ヨハンソン兄弟は、ストックホルムの支部会長をはじめとして、スウェーデンにおける教会の指導者として大きな働きをしました。⁹

この時代の迫害にもかかわらず、多くの人が福音に改宗しました。これまでに最も成功した年は1862年で、640人がバプテスマと確認を受けました。しかし、その改宗者のほとんどが時を置かずにユタ州に旅立って行きました。当時、指導者はユタ州の教会を強めるために移住を奨励していたの

前、彼は自分の食料品事業を売却し、妻と3人の子供とともに宣教師になったのです。戦争が終わったとき、ヨハンソン会長とスウェーデン出身の7人の宣教師が、戦争で閉鎖されていたフィンランドの伝道活動を再開するために召されました。

1946年にアメリカ人宣教師がスウェーデンに戻って来たとき、伝道活動の一環として英会話クラスを開き、生徒の多くが教会の会員になりました。しかしながら、多くのスウェーデン人の会員がユタ州に移住したためにその成長は長くは続きませんでした。かつての敵対者に対する恐れ、伝道部会長の勧め、神殿の儀式を受ける機会に心を動かされて、1948年から1950年間に250人の活発な会員がスウェーデンを離れました。

そのような家族の中に、オスカル・アンデション兄弟と妻のアルベルティナ姉妹がいました。彼らは1915年に教会の会員になりました。第二次世界大戦の後、オスカルとアルベルティナ、そして教会員と結婚した彼らの子供の7人は、所有物を全て売り払って「シオンに旅立つ」という心痛む決断をしました。1949年から1950年間に、29人から成る



アンデション家族がスウェーデンを離れました。オスカルとアルベルティナは家を後にしてから、スウェーデンに残った3人の子供と4人の孫に再会することは二度とありませんでした。彼らは自分たちの理解できない言葉を話す人々が住む砂漠や都市に到着しました。しかし、彼らのような忠実な会員にとって、神殿の近くに住むということは、他の何にも増して大切なことだったのです。

その後、アンデション家の人たちは、アフリカの地域会長やスウェーデンの神殿会長をはじめとして、世界の各地で宣教師や教会の

あるバーリット・ベンネルホルム兄弟は、次のように述べています。「長い間待ち焦がれた栄光ある経験でした。記憶に一番残っているのは、皆で白いハンカチを振って『ホサナ!』と叫んだときのことです。」

神殿の敷地を選ぶ過程にも主の手が働いています。ストックホルム地域にある幾つかの自治体と何回も会談した後で、2か所の候補地が挙がりました。地元の教会指導者で構成される委員会は、そのうちの1か所を神殿用地として推薦しましたが、大管長会はもう一方の敷地がより良いという決定をしました。この決

スウェーデンに関する教会の統計

伝道部 — 1
 ステーク — 4
 地方部 — 1
 ワード — 24
 支部 — 16
 会員総数 — 9,463

1953年——
 最初の教会員カップル、
 ベングト-アーネ・マンハンマルと
 ジャスティン・スコグが
 クラクレンス・F・ジョンソン伝道部会長の
 司式により結婚する。



◀ 1955年——
 スウェーデン人会員の
 最初のグループが
 スイス・ベルン神殿に
 参入する。

1965年——
 教会が建築した
 最初の集会所が、
 スtockホルム、
 グッペンゲンで
 奉献される。



指導者として奉仕しました。

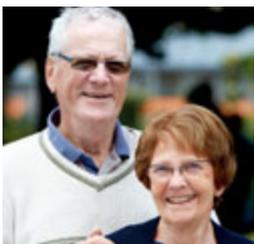
一方、他の教会員はスウェーデンにとどまることを決意し、指導者となりました。その一人がポー・ベンネルド兄弟です。1949年にバプテスマを受けた若い父親でした。スウェーデンにおける重要な教会指導者となって、伝道部会長、地区代表、神殿会長として奉仕しました。



スウェーデンにおける神殿の祝福

1955年にスイスで神殿が奉献されたとき、移住はほぼ終わりを告げました。30年間、スウェーデンの会員は、数日かけて列車、バス、車、あるいは飛行機をも使って、時には年に数回神殿訪問をしました。

神殿がストックホルムに建てられて1985年に奉献されたとき、会員たちは無上の喜びを感じました。ベステルハニングワードの会員で



1982年にモルモンタバナクル合唱団がストックホルム・コンサートホールで公演した。

定は靈感を受けたものでした。採用されなかった方の敷地はその後、神殿にはふさわしくないことが分かったからです。

教会はスウェーデンのメディアから好意的な注目を得るための努力をしてきましたが、それが実を結んだのは1984年のことでした。ハッリー家族の若い兄弟たちがヨーロッパで最も大きな合唱コンクールで優勝したのです。彼らがテレビや新聞に採り上げられて教会が広く知られるようになり、当時多くの若い人々が教会に加入しました。

1980年代の後半に、メディアから注目を集めたもう一人の会員は、スウェーデンに駐在した35歳のアメリカ合衆国大使グレゴリー・ネウエル兄弟でした。彼はさまざまな公の行事に出席して度々大衆の目に触れたのです。ネウエル

たちの時代にこのえり抜きの地で業が本当に速まっています。」

教会も会員とともに成長しています。複数のステークによる大会は、近隣の国々から多くの若い人々を引き付けていて、新しい家族を作ることに貢献しています。政府から支給される十分な子供手当や育児休業中の所得保障により、夫婦が多くの子供を持つことが可能になっています。

今日、活発な若い会員のほとんどは、世界中で伝道の奉仕に携わっています。帰還宣教師の一人であるダービッド・ハルデー兄弟は、ロシアのイェケテリンプルグで最初の宣教師として伝道し、現在6人の子供がいるすばらしい家族を築いています。福音がどのように家族を助けているかについて彼はこう話しています。「子供を道からそらせようと

1975年——
最初のステークが
当時のトーマス・
S・モンソン
長老により
ストックホルムで
組織される。



◀ 1985年——
ストックホルム神殿が
ゴードン・B・
ヒンクレ管長により
奉献される。

1991年——
ロシアから来た
最初の会員が
ストックホルム神殿を
訪問する。当時、
ロシアとバルト諸国は
この神殿地区に
含まれていた。



◀ 1995年——
ストックホルム神殿の
献入式において、
トーマス・S・モンソン管長が
カール16世グスタフ国王と
シルビア女王の
案内役を務める。

夫妻は2011年にスウェーデンに再び渡り、2014年7月までスウェーデン・ストックホルム伝道部を管理しました。

ネウエル会長の管理下にあった宣教師は、84人から205人に増加しました。スウェーデンではアパートの数が少なく、家賃は高かったため、「新たに到着する宣教師のために伝道部が56戸ものアパートを追加で探すことができたのは奇跡です」とネウエル会長は述べています。

まことの成長

第二次世界大戦後の時代において、スウェーデンはますます世俗的な国になりました。しかし、神を探し求める外国からの移住者が多数いました。今日、6人に1人のスウェーデン人は国外で生まれた人です。スウェーデンで教会に加入した大多数の会員は外国からの移住者です。ネウエル会長は最近の改宗者の幾人かについてこう述べています。「28の異なる国から来た兄弟姉妹がスウェーデンで教会に改宗しています。彼らが母国から散乱することによって主はイスラエルを集めておられるとわたしは考えています。わたし

する非常にたくさん影響力があります。福音は子供を強め、自信を築く助けとなります。」

世俗的な環境や間違った報道にもかかわらず、多くの忠実な会員と強い教会指導者がスウェーデンに住んでいます。会員は、教会の教えと活動が家族や個人に提供している支えに感謝しています。そしてさらに多くの人々がイエス・キリストとその贖いの喜びあふれるメッセージを受けることが、彼らの大きな願いなのです。■

筆者はスウェーデン在住です。

注

1. *Box Elder Lore of the Nineteenth Century* (1951年), 58 参照
2. アンドリュウ・ジェンソン, *History of the Scandinavian Mission* (1979年), 81 参照
3. インゲル・ヘグルンド, カイ・オーゲ・ヨハンソン, *Steg i tro* (2000年), 122 参照
4. ジェンソン, *History of the Scandinavian Mission*, 53 参照
5. ミルトレ・マクドナルド, *No Regrets: The Life of Carl A. Carlquist* (1985年), 19 - 21 参照
6. マクドナルド, *No Regrets*, 219 参照
7. ジェンソン, *History of the Scandinavian Mission*, 331 参照
8. マクドナルド, *No Regrets*, 239
9. マクドナルド, *No Regrets*, 219 参照



マーリン・K・
ジェンセン長老

1989年から2012年まで
七十人として奉仕

聖なる 森

から学ぶ教訓

七十人に召されて4年がたった1993年、わたしの家族はニューヨーク州ロチェスター伝道部で奉仕するように召されました。その伝道部には（ジョセフ・スミスとその家族が1820年代のほとんどを過ごした）パルマイラの町と、（1830年4月に教会が組織された）フェイエットが含まれていました。

そこは、樹木が茂る緩やかな丘や、澄んだ湖や川があり、友好的で快活な人々であふれている、絵のように美しい土地です。この場所は、そこで起こった出来事によって神聖とされた場所でもあります。

パルマイラの近く、ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・マック・スミスの家族の家から400メートルほど西に、ブナやカシ、カエデ、その他の木々がそびえ立つ森があります。この森で、14歳のジョセフ・スミスが示現の中で父なる神とその御子イエス・キリストにまみえました。宗教に関する真理を知るために祈ったジョセフへの答えとして与えられたこの示現から、この最後の神権時代における福音の回復が始まりました。またこの出来事によって、あの森はわたしたちが「聖なる森」として尊び、教会歴史において尊ぶべき場所となりました。

わたしたち家族はあの森が大好きになり、その神聖さを肌で感じるようになりました。よくそこに行きました。毎月、伝道部に着いた新しい宣教師たちと、伝道を終える宣教師たちを聖なる森に連れて行きました。

敬虔な気持ちで聖なる森を歩いたり、森の中のベンチに座って思いにふけったりしながら、わたしはよく、聖文に出てくる木や枝、根、種、実、そして森に関連するたくさんの比喩的な描写について考えました。注意深く観察する人は、そこに存在する生態系から幾つかの重要な教訓を学ぶことができます。その中から、4つの教訓を短く分かち合おうと思います。¹

常に
思いと心の中で
聖なる場所に立ち、
神がそこで
明らかにされた
真理に忠実に
生活してください。



1. 木は常に光に向かって生長する。

聖なる森では、もともと森の端であった場所や内部の小道沿いにある木々が、上方にある枝葉を避けて外側に向かって生長し、その後、太陽の光を最大限に吸収するために上へと伸びています。ほぼ完全にまっすぐ生長している周りの木と対照的に、幹や枝が曲がりくねっています。ほとんどの生物と同じように、木も生存し生長するために光を必要とします。持てる全ての力を尽くして、光合成を行うためにできる限りたくさんの日光を浴びようとします。光合成とは光のエネルギーを化学エネルギーに変えるプロセスです。

光は自然界において重要な触媒ですが、霊的な領域においてはより一層重要です。わたしたちが神の息子や娘として霊的に成長し、秘めている可能性を最大限に発揮するために必要不可欠なものだからです。

暗闇は光と正反対のものであり、わたしたちを神から遠ざけ、神がわたしたちの人生のために用意してくださった神聖な計画をくじこうとする世の力を表します。悪の力が最も大きな影響を及ぼすのは、通常、日が暮れてからか暗い場所です。純潔の律法に反したことや、盗み、知恵の言葉を破ること、天の御父から禁じられているその他の行動は、たいてい暗闇に隠れて起こります。たとえ明るい昼間に間違っただことを選ぶときでも、心に暗闇を感じずにはいられないのです。

幸いなことに、キリストの御霊は「世に来るすべての人に光を与え、また御霊はその声を聴く全世界のすべての人を照らす。

そして、御霊の声を聴くすべての人は、神、すなわち父のもとに来る」のです（教義と聖約 84：46 - 47）。

この聖句は、神の子には上に向かって伸びようとする、神から与えられた霊的な本能があることを美しく表しています。すなわち自ら抑えない限り、光に向かって行き、そうすることによって、神とその御子の方に行き、さらに御二方ようになるのです。キリストは御自身について、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」と言われました（ヨハネ 8：12）。

皆さんにお勧めします。あらゆる汚らしい形の罪の暗闇を避け、御霊と真理と救い主イエス・キリストの光で生活を満たしてください。そうするために、高潔な友人、靈感

あふれる音楽と芸術、最良の書物（特に聖典）から得る知識、心から祈る時間、自然の中で過ごす静かな時間、健全な活動や会話、そしてキリストと、主の愛と奉仕の教えを中心とした生活を求めてください。

2. 木はその創造された目的を達するために反対のものを必要とする。

長年にわたり、聖なる森を世話するに当たって森林の管理に関する様々な意見が取り入れられてきました。ある



とき、一部の土地で「間伐」と呼ばれる方法が試験的に用いられました。試験を行う土地で、最も健康で大きな木に育つと思われる若木を森林管理人が特定し、生長をあまり期待できない木や、じゃまになりそうな下生えを切ってしまいます。水や日光、土の栄養分を奪い合う相手のほとんどを取り除くことによって、選ばれた木が競争から解放されて驚くほど生長するだろうというわけです。

数年後、期待していたのとまったく正反対の状態が起こっていることが明らかになりました。一旦競争から解放されると、選ばれた木は現状に満足するようになってしまいました。光に向かって上へ伸びていこうとせず、垂直方向への生長が遅くなり、上方に葉が繁ったなら結局は役に立たなくなるような大枝を低い位置にたくさんつけて、太くなっていました。試験を行った土地の木はどれも、他の樹木と競争し打ち勝たなければならなかった木と比べて、大きさも



聖なる森には、
試練が
自分の益となること、
またわたしたちは
窮地にあるときに
多くを得ることを
実証している
木があります。



生命力も劣っていました。

モルモン書が教える主要な教義の一つは、「すべての事物には反対のものが」なければならないということです(2ニーファイ2:11)。反対のものがある世界では善悪を選ぶ機会があるので、選択の自由を用いることができます。しかし、それと等しく重要なのは、霊的な成長が起こるためには、反対のものが存在しなければならないという原則です。この原則を理解し、さらにはこの原則を受け入れることは、人生を受け入れ、幸せを感じる鍵です。それは必要な個人の成長と発達を経験するためにもきわめて重要です。

遅かれ早かれ、わたしたちは皆、反対のものや逆境に遭遇します。その一部は、墮落したこの世に生を受けた結果としてやって来ます。そのような試練は、さまざまな形で訪れます。自然の力が関与することもあります。病気や誘惑、孤独、肉体的あるいは精神的な障がいかもしれません。ときどき、試練や苦難は、わたしたち自身の誤った選択の結果として訪れます。全ての壊れたものを直す方法を与えてくださった主とその贖罪に、わたしたちは皆、どれほど感謝をするべきでしょう。

リバティーの監獄で耐えられないような重荷を負っていたジョセフに与えられた主の言葉に、わたしは大きな慰めを得ます。「息子よ、あなたはこのことを知りなさい。すなわち、これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう。」(教義と聖約122:7)

聖なる森には、試練が自分の益となること、またわたしたちは窮地にあるときに多くを得ることを実証している木があります。これらの木は、落雷や激しい突風、重い雪や氷、不注意な人間の侵入や粗末な扱い、時には隣接する木々からの攻撃など、さまざまな形の試練や逆境から再生しなければなりません。これらの逆境を通して、この森で最も

丈夫で、最も興味深い姿をした木々が育っていきました。

3. 木は単独ではなく、森の中で最も育つ。

自然界で木が1本だけ立っているのを見ることは非常にまれなことです。ほとんどの場合、木は小さな森の中に生えていて、時間とともに、それが大きな森になることがあります。しかし、聖なる森はただの木の集まりではありません。この森は、多様な種類の植物と動物から成る一つの複雑な生態系となっています。

あらゆる種類の野生の草花、茂み、灌木、木、真菌類、コケ、鳥、齧歯動物(訳注——ネズミ、リス、ビーバーなど、物をかじるのに適した大きな切歯を持つ小動物)、ウサギ、鹿、その他の生き物が互いに関連し合っ



ている様子が観察できます。これらの動植物は互いに影響し合い、頼り合いながら、食物を得、風雨や危険を避け、全てがその命のサイクルを経験できる相乗的で社会的な環境を作っています。

神がわたしたちの人生のために用意してくださった計画では、これと似た相互のつながりが意図されています。わたしたちは独りではなく、皆で一緒に救いを達成することが意図されています。教会は、隠遁生活を送る家ではなく集会所を建てます。

福音の回復が始まったときから、わたしたちはバプテスマの聖約を尊ぶことによって、互いに支え合い、協調して暮らすことを学べるコミュニティーに集まるように命じられてきま



した（モーサヤ18：8－10参照）。木が1本だけではあまり生長できないように、神の子供たちとして、わたしたちは独りでは栄えることはできません。健全な木は生態系を必要とし、健全な人々は互いを必要とするのです。

感謝すべきことに、誰の心の中にも、人と集まり、親しく交わり、忠実な友人を得たいという強い望みがあります。神の永遠の家族の一員として、わたしたちは皆、親密で永続する関係がもたらす満足感と安心感を求めています。確かにソーシャルネットワーキングサイトが一つの社交の形を提供していますが、本物の永続する関係を築くために必要な、正直で、心を開いた、向かい合っゆるてのコミュニケーションに取って代わることはできません。

もちろん、他人とうまくやっていくことを最初に学ぶ最もすばらしい実習室は家庭です。他人との永続する関係を築くのに不可欠な奉仕や無私の精神、赦し、忍耐を、わたしたちは家庭で学びます。

幸いにも、靈感によって設けられた教会の組織もまた、わたしたちが社会的に成長できる場所を提供しています。教会の召し、集会、クラス、定員会、評議会、活動、その他のさまざまな交わりの機会によって、わたしたちは他人との協調を保って生きるのに必要な特質や能力を身につけ、それらは天に存在する社会的秩序に向けて備える助けとなります。

この、より高い秩序について、主はジョセフ・スミスを通してこう言われました。「ここでわたしたちの間にある交わりが、そこでもわたしたちの間にある。ただし、その交わりには、わたしたちが今享受していない永遠の栄光が伴う。」（教義と聖約130：2）

木は前の世代の木々が生み出した栄養から強さを得る。

聖なる森の世話をするに当たって、担当者たちが森の見た目をきちんと整える必要が

あると判断した時期がありました。倒木や折れた枝、下生え、切り株、枯れ葉などを処分するために、奉仕プロジェクトが行われました。こうした活動を行ったところ、森はすぐに元気を失い始めてしまいました。木の生長は遅くなり、新しい木もあまり生えなくなり、幾つかの種類の草花は姿を消し始め、そして動物や鳥の数も減少してしまったのです。

後に、森をできるだけ自然な状態にしておくようにとの勧告を受けて、倒木や折れた枝はそのまま置いておかれ、腐って、土を肥沃にしました。落ち葉もそのまま残されました。訪問者は森を荒らさず、土を踏み固めないように、決められた歩道だけを通るように言われました。するとたった2、3年のうちに、森は

驚くべき方法で自己再生を始めました。今日、森はほとんど元の自然な姿に戻り、青々とした植物と豊富な野生生物とともに栄えています。

森の管理に関するこの経験から学べる教訓は、わたしにとってとても大切なものです。わたしは教会歴史家および記録者として7年間奉仕する特権にあずかりました。記録を残すことや、歴史記録を集め、保存し、紹介することが、イエス・キリストの教会でそれだけ重要とされているのはなぜでしょうか。わたしたちにとって、前の世代の人々を心に留め、彼らから強さを得ることが重要なのはなぜでしょうか（教義と聖約21：1；69：3、8参照）。

注意深く
観察する人は、
聖なる森に存在する
生態系から
幾つかの重要な教訓を
学ぶことができます。

お伝えしたいのは、過去の土台なしに現在を十分に生きることはできず、未来の行く末について考えることはそれ以上に不可能だという点です。過去と現在、そして未来の関係をすることにより、主がジョセフ・スミスに明らかにされた真理の定義をさらによく理解する助けとなります。「真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である。」(教義と聖約 93:24)



残されてきた記録のおかげで得ている過去についての知識と、聖典と生ける預言者の教えのおかげで得ている未来についての知識は、現在にあって選択の自由を賢く行使することのできる状況を与えてくれます。

教会歴史、特に教会が創設されたときの出来事についてよく知ることは、わたしたちにとって大切です。ジョセフ・スミスの最初の示現、モルモン書の出現、パプテスマのヨハネ、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、エリヤ、エライアスなどの天使の訪れについての話には、回復の土台となっている真理が含まれています。

残念なことに、情報があふれているこの科学技術の時代には、教会の歴史上の出来事や人物について批判的な情報もあり、信仰が揺るぎ、長く保ってきた

信条を疑い始めてしまう末日聖徒がいます。そのように疑いを抱く人に、わたしは愛と理解を伝え、次のことを約束します。もし福音の原則に従い、よく祈って教会歴史の研究を続けるならば、そして十分に研究して、断片的もしくは不完全な知識ではなく、より包括的な知識を得るならば、聖霊が心に平安を告げることによって、教会歴史の重要な出来事に対する信仰を確認して下さるでしょう。この方法によって、回復された教会の歴史に関して確信を持てるようになります。

まとめ

パルマイラの近くで伝道していたとき、わたしはときどき一人で聖なる森に入って行き、最初の示現のときに生えていた3本の木のうちわたしの一番好きな「証の木」の隣に敬虔な気持ちで立ちました。もしその木が話すことができたなら、1820年のあの春の日に見たことをわたしに教えてくれるだろうと想像したものです。しかし、その木に教えてもらう必要はありませんでした。既に知っていたからです。

若い頃から始まり、まさに今この時間も続いている霊的な経験と感情によって、わたしは父なる神が生きておられることを知っています。また、その御子イエス・キリストが全人類の救い主、贖い主であられることを知っています。この栄光に満ちた御二方が、ジョセフ・スミスに御姿を現されたことを知っています。

これらの栄えある真理は、聖なる森で始まりました。皆さんにお勧めします。常に思いと心の中であの聖なる場所に立ち、神があたの場所であらうとされた真理に忠実に生活してください。■

2012年5月6日にアメリカ合衆国カリフォルニア州で開かれたCESデイボーショナルでの説教、「聖なる森に立つ」からの抜粋。全文(英語)は cesdevotionals.lds.org を参照してください(訳注——日本語[音声のみ]は、<https://www.lds.org/broadcasts/> で日本語を選択し、「CESデイボーショナル」「2012」の順にクリックする)。

注

1. これらの栄えある真理は、聖なる森で始まりました。皆さんにお勧めします。常に思いと心の中であの聖なる場所に立ち、神があたの場所であらうとされた真理に忠実に生活してください。

失われた500年—— マラキからバプテスマのヨハネまで

旧約聖書の時代と
新約聖書の時代の間の
500年から、
わたしたちは
イエス・キリストの
来臨前の
古代パレスチナにおける
状態について知り、
救い主に従う決意を
新たにすることが
できます。



ブリガム・ヤング大学古代聖典学名誉教授

S・ケント・ブラウン

ブリガム・ヤング大学教会歴史・教義学教授

リチャード・ナイツェル・ホルツアップフェル

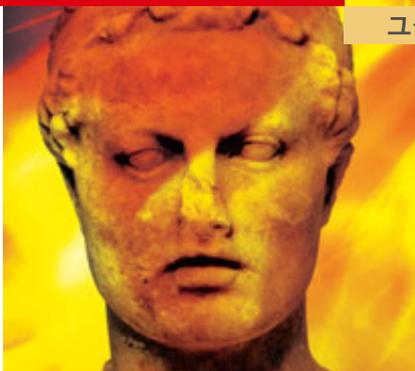
預言者マラキが紀元前450年頃にこの世の務めを果たし終えた後、まことの預言者の声がおよそ500年間、再び聞かれることはありませんでした。この期間は、旧約新約間の時代、すなわち旧約聖書の神権時代と新約聖書の神権時代

の間の期間として知られています。預言者がいないまま、その地の人々は党派とグループに分かれ、それぞれが聖文を解釈し民を指導する権利は自分たちにあると主張し始めました。エホバについての正しい理解がこれらのグループの中に見られなくなりました。長い混乱の夜が続きましたが、神が新たな神権時代を開始するために新たな預言者であるバプテスマのヨハネを遣わされたことで、その夜が終わりました。しかし、バプテスマのヨハネと救い主が民に教えを説かれたにもかかわらず、

セレウコス朝 紀元前 198

反乱 紀元前 164

ユダヤ人独立国家 紀元前 142



背教の状態

この背教の結果、民は、さまざまな政治的、宗教的、また社会的な意図を持つグループに分かれました。また、メシヤについての信条と伝承も異なっていました。それらの宗教グループは自分たちが理解しているとおりモーセの律法を実践しようとしていました。しかし、各グループがそれぞれの視点から聖文を解釈したので、ユダヤ人社会はますます分裂しました。その結果、「救い主は誰か」ということについての正しい理解は混乱しました。

預言者の声がやんだとき、祭司と、彼らとともに神殿の業を行ったレビ人は、ユダヤ人の中で最も重要な役割を果たす人々となり、自分たちには聖文を解釈する権利があると主張しました。しかしながら、大祭司の職はこの時期に売買の対象となり、腐敗していました。

多くのユダヤ人は、祭司とレビ人が律法を正しく教える責任を果たしていないと感じていました（申命 33：10 参照）。そこで、律法を教えようとした一つの新たなグループが登場しました。律法学者として知られるようになった彼らは、エズラを手本としていました。エズラとは、民が律法を学び、律法に従うことの緊急性を感じるように助けた人物でした（エズラ 7：25；ネヘミヤ 8：1－8 参照）。

アレキサンダー大王が紀元前 332 年

パレスチナはセレウコス朝の皇帝の支配下に入りました。その皇帝の一人がアンティオコス 4 世エピファネスでした。アンティオコスはユダヤ人社会を強制的にギリシヤ化し、時折大勢のユダヤ人を処刑し、ユダヤ人の宗教儀式を禁止し、神殿を汚しました。反ギリシヤのユダヤ人指導者であるユダ・マカベアは、反乱を指導し、神殿を再奉献しました。そして、民は初のハヌカ（訳注——マカベア戦争に勝利し、汚された神殿を再奉献したことを記念して、ユダヤ暦キスレブの月の 25 日から 8 日間行われるユダヤ教徒の祭り）を祝いました。



にパレスチナの地域を征服しました。彼が死ぬと、王国は将軍たちの中で分割されました。やがて、パレスチナはギリシヤ語を話すセレウコス朝の皇帝の影響下に入りました。紀元前 167 年に、セレウコス朝の統治者たちはユダヤ教を不法として、割礼を禁止し、豚を祭壇にささげて神殿を汚しました。多くのユダヤ人が、マカベア家あるいはハスモン家として知られていた一族に率いられて抵抗しました。マカベア戦争と呼ばれた反乱は、ついにユダヤ人に自由をもたらし、エルサレムの陥落以降初めてユダヤ人の国家が設立されました。同じ時期に、「敬虔な者たち」という意味を持つハシディームとして知られたもう一つの宗教グループがありました。彼らは、自分たちが理解しているとおりモーセの律法のあらゆる事項を実践することによって、神に自分たちの信仰心を示しました。

ほかにも旧約新約間の時代に複数の宗教グループが出現し、それぞれが聖文を解釈する独占的な権利を主張しました。パリサイ派は、マカベア戦争後間もなく出現した人々であり、独立した宗教グループでした。彼らは食べ物に関する律法と清めの儀式に焦点を絞ることによって、ユダヤ人社会に非常に大きな影響を及ぼしました。彼らの解釈は、聖文ではなく、おもに口承に基づくものでした。彼らは自分

ローマ帝国 紀元前 63

の家で、あたかも神殿に住んでいるかのごとくに振る舞うように努めました。

一方、サドカイ派は、その起源はいまだに分かりませんが、口承に訴えることを認めず、モーセの五書に厳密に従い、他の預言者たちの書には背を向けました。このグループはおもにエルサレムの社会におけるエリートで構成されていました。イエスがお生まれになったときには、彼らはエルサレム神殿の管理を主張することによって勢力を拡大していました。

これらの宗教グループはそれぞれ、信仰生活に欠かせないと信じた伝承と教義を守り通しました。しかし、まことの預言者による導きがなかったため、自分の解釈に頼らざるを得ませんでした。

新たな神権時代の到来を待つ

彼らの宗教的説き伏せがあったにもかかわらず、義を求めた男女は、旧約新約間の時代になおメシヤの来臨を待ち望んでいました。詩人たちは詩篇を歌い、一般の人々は、御自分の民を救うように定められていたダビデの家系の王の到来について祈り、語り、夢見ていました。

メシヤを待っていた一つのグループは、マカベア戦争中に組織されたエッセネ派でした。エッセネ派は、エルサレムの神殿の祭司が腐敗しており、

短期間の独立後、ポンペイウス大王がエルサレムに侵攻し、エルサレムはローマの支配下に入りました。ローマは、ユダヤの支配を託す王として、エサウの子孫であるヘロデ大王を任じました。彼はエルサレムを再建し、神殿エリアを拡張しました。カエサル・アウグストゥスがローマにおける共和制統治を終わらせ、ユリウス・カエサル後の第2代ローマ皇帝となりました。

神殿は本格的な改革を必要としていると信じていました。彼らの見解では、メシヤの来臨は間近でした。ローマの統治者はイエスの降誕のおよそ60年前にパレスチナを征服していました。エッセネ派は、メシヤが自分たちとともに、ローマの圧政のくびきを投げ捨ててくださると信じていました。

回復に先立つ宗教改革と同様、旧約新約間の時代にも、世界をイエスキリストの来臨に備える数々の出来事がありました。この時期に宗教文書の注目すべき作成が行われたのです。ヘブライ語聖書のギリシャ語への翻訳と、死海文書と聖書外典の作成がそれに含まれます。この時期に、人々が天使や復活、天と地獄の概念について考えるようになり、その理解が深まりました。

しかし、彼らを導く預言者がいなかったため、ユダヤ人は、聖文の意味と、メシヤは誰かについて論争しました。大半の人がダビデの家系のメシヤ（ダビデ王の子孫）を待っていましたが、アロンの子孫であるメシヤ、すなわち祭司のメシヤを支持した人々もいました。それでも他の人々はメシヤの来臨を期待していませんでした。

旧約新約間の時代にさまざまなグループの中で多くの期待が高まっていたため、まことのメシヤが来られたときに、それらのグループはメシヤを



ヘロデ大王

カエサル・アウグストゥス

ポンテオ・ピラト



見分ける方法が分かりませんでした。グループはどれも、すなわち、律法学者やパリサイ人、エッセネ派、サドカイ派はどれも、バプテスマのヨハネを預言者として、あるいはイエスをメシヤとして受け入れませんでした。これらのグループの中には、御業に携わっているヨハネとイエスの主要な敵対者となった者もいました（マタイ 21：23 - 46 参照）。

さまざまなグループの間でメシヤについての議論と論争が続きました。新たな神権時代の最初の預言者であるバプテスマのヨハネは、まことのメシヤの来臨を宣言し、メシヤが与えてくださる救いについてはっきり説明しました。イエス・キリストを指して、ヨハネはこう言いました。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」（ヨハネ 1：29）ヨハネがキリストの来臨に対して人々を備えさせたことで、多くのユダヤ人がヨハネを受け入れました。

イエス・キリストは教導の業を開始されたとき、「律法学者たちのようではなく、権威ある者のように」人々を教えられました（マタイ 7：29）。イエスは宗教指導者たちと度々論じ合い、結婚や復活、神会、また救い主としての御自分の役割をはっきり説明されました。イエスは宗教指導者の多くから拒まれ（マタイ 26：4 参照）、

カエサル・アウグストゥスとヘロデ大王の統治中に、救い主イエス・キリストがベツレヘムでお生まれになりました。イエスは生まれながらの王の王、主の主であられました（イザヤ 44：6 参照）。

彼らにこう述べられました。「あなたがたは、わたしをもわたしの父をも知っていない。もし、あなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父をも知っていたであろう。」さらに、こう言われました。「神があなたがたの父であるならば、あなたがたはわたしを愛するはずである。」（ヨハネ 8：19, 42）

彼らはイエスとはまったく違うメシヤを予期していたために、イエスを拒みました。幸いなことに、わたしたちは、福音の真理が預言者たちと使徒たちを土台とする教えの上に築かれている時代に住んでいます（エペソ 2：20 参照）。わたしたちは預言者たちと使徒たちの導きがない場合に生じる霊的な横風の中で物事を選択する必要はないのです。わたしたちは末日の預言者たちと使徒たちに従うとき、預言者ジョセフ・スミスに啓示されたとおりに、救い主イエス・キリストのまことの教義を理解するようになります。

「〔わたしは〕まことに神の右に小羊を見たからである。また、〔わたしは〕証する声を聞いた。すなわち、『彼は御父の独り子であり、

彼によって、彼を通じて、彼から、もろもろの世界が現在創造され、また過去に創造された。そして、それらに住む者は神のもとに生まれた息子や娘となる』と。」（教義と聖約 76：23 - 24）■



死海文書

現代の聖書への窓

ブリガム・ヤング大学ヘブライ語聖書教授
ドナルド・W・バリー

1947年の初め、遊牧民ベドウィンのターミレ族の3人の羊飼いが迷い出た羊を捜していました。羊飼いの一人が洞窟の中へ石を投げ込むと、土器のつぼが割れる音がしました。洞窟へ入ってみると、大きなつぼが数個あり、中に巻物が入っているものもありました。^{*}その後数年間で、ベドウィンと考古学者たちは死海の北西岸にある11の洞窟で数百の巻物を発見しました。

死海文書は20世紀最大の考古学的発見であると多くの学者が信じています。この文書は900を超える文書から成る古代文庫とも言えるもので、その大半は旧約聖書の原語ヘブライ語で書かれています。約225の巻物には旧約聖書の最古の写本が含まれており（エステル記を除く）、中世に使用されたものより1,000年以上も古いものです。死海文書の大部分は紀元前150年から紀元68年までのもので、紀元前3世紀にまで遡るものもあります。

死海文書には従来の聖典のほか、神殿文書（エルサレムに建てられる神殿、および理想的な聖約社会を描く）、戦争文書（末日の紛争を描く）、旧約聖書に対応する文書（エノク書、ノア書、メルキゼデク書、ヤコブ書、ユダ書、レビ書など）

があります。聖書にはエノクについての記述がほとんどありませんが、死海文書ではエノクは重要人物であり、特別な賜物を持った偉大な預言者です。

死海文書の大半は古く、風雨にさらされたために著しく破損していますが、学者たちは筆写の慣習について非常に多くを学ぶことができました。注意深い綿密な作業の跡からは、聖典を写し、後の世代へと伝えた高度な専門技術と技能がうかがえます。聖典を愛し大切にしているわたしたちは、入念な作業に従事した筆記者たちに深い恩義の念を抱きます。

文書を手で書き写す古代の方法を考えると、聖書が今世紀まで存続するために驚くべき過程を経てきたことが分かります。死海文書は、旧約聖書がかなりの程度の正確さを保持しながら何世紀もの間伝え継がれてきたことを証しています。この点について、わたしたちは預言者をはじめ、筆記や筆写に携わった人々、世代から世代へ聖書を伝えてきた全ての人に感謝しなくてはなりません。■

^{*}死海文書が発見された経緯の話は、語った人により多少異なります。羊飼いたちが記憶に頼って数年後に語ったからです。





管理ビショップ
ゲリー・E・
スティーブソン
ビショップ

本当の クリスマス

救い主の
降誕しよくだいと贖罪が
なければ、
わたしたちには
執り成しをする者、
御父に対する弁護者、
また仲保者が
いないこと
になります。
キリストが
おられるので、
わたしたちは
愛に満ちた
天の御父の
もとに帰って
永遠の家族として
一緒に暮らすことが
できるのです。

わたしの父は少年のとき、ユタ湖に近いユタ中部の小さな町に住んでいました。開拓者以前の時代に、アメリカ先住民がこの地域で狩りと釣りをしていました。そのため、湖の周囲の幾つかの場所が矢じりを探す人々に人気の場所となりました。

父が5歳のとき、ワードで父親と息子の活動があり、人々は矢じりを探すためにユタ湖へ行きました。グループで一日中探した後、祖父は、矢じりを見つけたかどうか父に尋ねました。

「だめだったよ。何も見つからなかった」と、父は答えました。それから父は、ポケットに手を入れて言いました。「だけど、クリスマスツリーのようにとがった、このきれいな石を見つけたよ。」

結局、父は矢じりを見つけていたのに、それを知らなかったのです。本物を手にしていたのに、それだと分からなかったのです。

あがな 贖こんい主を認める

今日、多くの人にとって、現実の最も重要な事柄、すなわち世の救い主イエス・キリストについての認識が、現実でない事柄によって曖昧あいまいになっています。

最近わたしは、イエス・キリストに関するテレビ番組を見ました。イエス・キリストは実際に処女マリヤからお生まれになったのか疑問視するものでした。高い評価を得ている教育機関の立派な教授たちでさえ、これがあり得ることかと思索していました。

このような疑いを抱いている人々に応えて、エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）は、次のように述べています。「いわゆる学者たちは、新約聖書の中で宣言されている、神の御子としてのキリストの降誕は決して神を父とするものではなく、マリヤはイエスを身籠みごもったときに処女ではなかったと、わたしたちを説得しようとしています。イエスの育ての親であるヨセフがイエスの肉体の父であり、したがって、イエスは全ての属性と特質において人間であると、わたしたちに信じさせようとしています。イエスは偉大な倫理学者、恐らく実に最も偉大な倫理学者であると述べて、彼らはイエスを称賛することには寛大であるように思われます。しかし、彼らが行おうとしていることの根底にある目的は、イエスが神の御子であられるのを否定することでした。キリスト教のその他の主張は全て、その教義を基としているからです。」¹

わたしは人工雪の上でスキーをしたことも、偽物のクリスマスツリーを偽物のつららで飾ったこともあります。時折、何が本物か、特に仮想現実の時代にはそれを理解するのが難しいことがあります。それでは、何が本物か、どうすれば分かるのでしょうか。イエス・キリストの實在あかしについて証を得るには、どうすればよいのでしょうか。

わたしたちは聖文、すなわち古代と近代の



救い主を見いだす



「最も貴く神聖なものがよく見える状態でわたしたちのすぐ前にありながら、それがわたしたちの目に入らないこと、ある

いはそれを見ようとしませんが、時折あります。……

わたしは約束します。生活をあと少しきちんと整え、誠実に、へりくだって、心から、汚れのない優しいキリストを求めらるなら、クリスマスの時期に、また1年を通して、わたしたちはキリストを理解し、キリストを見いだすことでしょう。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ウークトドルフ管長
“How to See the Christ in Christmas,”
New Era, 2013年12月号, 48

また見よ、あなたがたが一度も見たことのないような一つの新しい星が現れる。」(ヒラマン 14:3, 5)

ユダヤの民はこの大いなる出来事を切望していました。彼らはメシヤが来られることを知っていました。そして、メシヤが栄光をもって来て、この世的に彼らを解放し、この世の王国を確立し、王として統治してくださることを、彼らは期待したのです。

メシヤの降誕を最初に知ったのは、誰でしょうか。サンヒドリンやその他権力と影響力を持っていた人々でしょうか。

「わたしが眺めると、……ナザレの町も見えた。そしてわたしはナザレの町に一人のおとめを見たが、それはまことに色が白く美しいおとめであった。……

すると天使は言った。『見よ、あなたがたが見ているおとめは、肉に関して神の御子の母である。』……

それで眺めると、腕に幼子を抱いたおとめが見えた。

すると天使がわたしに言った。『神の小羊……を見なさい。……』(1 ニューファイ 11:13, 18, 20-21)

救い主の降誕の124年前に、ベニヤミン王は次のように告げました。

「見よ、……全能の主が、力をもって天から人の子らの中に降^{くだ}って来て、土の幕屋に宿り、人々の中に出て行って大きな奇跡を行われる時が来る。しかもそれは遠い先のことではない。……

そしてこの御方は、イエス・キリスト、神の御子、天地の父、時の初めからの万物の創造主と呼ばれ、母はマリヤと呼ばれる。」(モーサヤ 3:5, 8)

キリストの降誕の83年前に、アルマはこう述べました。「そして見よ、神の御子は、わたしたちの先祖の地であるエルサレムで、マリヤからお生まれになる。マリヤは……おとめであって、尊い、選ばれた器である。」(アルマ 7:10)

また最初のクリスマスのわずか6年前に、レーマン人サムエルはこう宣言しました。

「見よ、神の御子の来臨の時のしるしとして、あなたがたに次のことを知らせておく。見よ、天に大いなる光があるために、神の御子が来られる前の夜は暗闇^{くらやみ}がな [い。] ……」

聖文に記されている神の言葉を読むとき、本当の事柄に関する証を得ます。生ける預言者たちと使徒たちの証を聴き、読むとき、救い主の實在について学びます。わたしたちは「キリストを信じながら、誠心誠意」祈るとき、真理を見いだします(モロナイ 10:4)。わたしたちは「キリストを信じ……、キリストを否定しない」とき、また「キリストの前にひれ伏し、……勢力と思いと力を尽くし、全身全霊を込めてキリストを拝[する]」とき、「正しい道」を見いだすのです(2 ニューファイ 25:29)。

キリストの降誕についての預言

キリストの降誕、すなわち最初のクリスマスについて預言している聖文はたくさんあります。わたしたちはこれらの聖文に述べられている預言を読むとき、それらが確かに預言であったということを忘れるかもしれません。聖文には、語られた当時はまだ起こっていないものの必ず起こるはずの事柄がきわめて詳細に述べられています。

キリストの降誕の800年前に、イザヤはこう述べました。「ひとりのみどりごがわれわれのために生^{うま}れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、『靈妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君』ととなえられる。」(イザヤ 9:6)

救い主がお生まれになる600年前に、ニューファイは、神の御子の母に関して見た示現について次のように述べました。



言葉と行いであなたの誠実さを示してください。約束を守ってください。人へのわだかまりを捨ててください。敵対する人を赦してください。謝ってください。理解するように努めてください。他の人々に対するあなたの要望を吟味してください。まず他の人のことを考えてください。親切であってください。優しくあってください。もう少し笑ってください。感謝を述べてください。見知らぬ人を歓迎してください。子供の心を喜ばせてください。地上の美しさと驚異を楽しんでください。あなたの愛を何度も言葉にして告げてください。」³

キリストがおられなければ、クリスマスはなかったでしょう。キリストがおられなければ、完全な喜びはあり得ません。キリストの降誕と贖罪がなければ、わたしたちには執り成しをする者、御父に対する弁護者、また仲保者がいないことになります。キリストがおられるので、わたしたちは愛に満ちた天の御父のもとに帰って永遠の家族として一緒に暮らすことができるのです。

わたしは皆さんとともに、神の御子の降誕と使命の美しい奇跡的な現実を祝います。そして、イエス・キリストがわたしたちの救い主であり贖い主であり、約束されたメシヤであられることを証します。■

注

1. *The Teachings of Ezra Taft Benson* (1988年), 128
2. エズラ・タフト・ベンソン。ラリー・C・ポーター, "Remembering Christmas Past: Presidents of the Church Celebrate the Birth of the Son of Man and Remember His Servant Joseph Smith," *BYU Studies*, 第40巻 第3号 (2001年), 108で引用
3. ハワード・W・ハンター, "The Gifts of Christmas," *Ensign*, 2002年12月号, 18-19

聖書には、それは地面で寝ていた身分の低い羊飼いたちであったことが述べられています。天使は彼らに「大きな喜び」を宣言しました(ルカ2:10)。またそれは、遠くから来た博士たちでした。彼らは「東の方でその星を見たので、そのかたを拝みにきました。」(マタイ2:2) 権力者と影響力を持つ者は、物事を見る目がこの世の学問によって曇っていたので、救い主の降誕の時や、救い主が教導の業を進めておられたときに、救い主とともにいませんでした。彼らは本物を前にしていましたが、それが分かりませんでした。あるいは、それを受け入れませんでした。

もっとキリストのようになる

クリスマスの時期に関する最も大いなる事柄の一つは、それが神に関わる事柄への感受性を増すことであると、ベンソン大管長は述べています。

「それは、御父との関係、ならびに神に対する献身の度合いについて、静かに考える機会となります。

それは、もっと寛容であって与えるよ

うに、もっと他の人々に気配りをするように、もっと寛大であって誠実であるように、もっと希望と慈愛と愛に満たされるように、すなわちキリストのような特質を持つようにわたしたちに促します。クリスマスの精神が全世界の人々の心を捉えるのも不思議ではありません。……少なくとも一時、主なる救い主、イエス・キリストに対する注目と信仰心が増すのです。」²

クリスマスの精神がわたしたちの心に浸透するこのクリスマスに、わたしたちは、気持ちを外向きに示すことを何か行い、ベツレヘムでお生まれになった幼子が本当の贖い主であられることを理解していることを示しましょう。ハワード・W・ハンター大管長(1907-1995年)は、わたしたちがそれを行うのに役立つ実用的な助言を幾つか与えています。

「このクリスマスに、争いを修復してください。忘れられている友を探し出してください。疑念をはねつけ、それを信頼に変えてください。手紙を書いてください。穏やかな返答をしてください。青少年を励ましてください。

お母さんのクリスマスキルト

わたしが生涯で最もつらい経験をしたのは、10歳の娘が脳腫瘍で亡くなって間もない頃のことです。「死ぬときには何も持って行けない。」ある土曜日の午後、娘の部屋を見回したときに、まさしくこの言葉のとおりだと思いました。

クラリッサはもうこの世にいません。しかしその部屋には彼女がこの世にいた名残がまだ漂っていました。わたしたちには彼女の身の回り品をどうするか決めるといって圧倒されるような仕事が残っていました。たった一つでも、遺品を手放すのは容易ではないと

いうことは分かっていました。特に、妻にとってはです。

通院、化学療法、また放射線治療に伴って細々としたことを立て続けに処理しなければならなかったため、掃除や整理にかかる時間はほとんどありませんでした。

娘がベッドのヘッドボードや本棚にきちんと並べていた品々を片付けていると数々の思い出がよみがえってきました。お気に入りの毛布、本、あるいはネックレスから、動物のぬいぐるみ、教科書、サッカーボールに至るまで、どの品々にも深い思い入れがありました。

一つ一つの品物をどうしようかと尋ねる度に、妻はすすり泣きました。

クラリッサの本をたくさん集め、小学校へ持って行きました。他の子供たちを楽しんでもらうためです。ドレッサーは近所の人にあげました。衣類の一部はいとこたちの手に渡りました。他の人に心を向けることで、娘のものを手放すという難しい状況が少しは和らぎました。

数週間後、クリスマスが近づいていた頃、10代の娘二人が妻に、特別なクリスマスプレゼントを作りたいのでクラリッサの衣類から少し使ってもいい

贈り物を開け、
娘たちが自分のために
何を作ってくれたのか
分かったときの妻の表情を
わたしはこれからも
ずっと覚えていることでしょう。



主は、今、わたしの奉仕を必要としておられる

かと尋ねました。娘たちはクラリッサにまつわる大切な家族の思い出がこもった衣類を選び、注意深くその人生の貴重な瞬間を象徴する四角い布を切り取りました。

クリスマスの数日前に、二人の娘と、アイデアを思いつききっかけ作りをしてくれた若い女性の指導者が、制作中のキルトを見せてくれました。一枚一枚の四角い布切れを見て、わたしは驚嘆しました。それぞれがクラリッサの人生の一こま一こまを表していたからです。サッカーのユニフォーム、家族旅行のときに買ったシャツ、病院で着ていたパジャマなどから切り取った四角い布切れでした。一枚一枚が、それぞれとても貴重で美しく、クラリッサとともに過ごしたときのことを思い出させてくれました。わたしは娘たちに、完璧な出来だと告げました。妻はきつと気に入るだろうと思いました。

クリスマスの朝、心のこもった贈り物が渡されるのを目にしました。贈り物を開け、娘たちが自分のために何を作ってくれたのか分かったときの妻の表情をわたしはこれからもずっと覚えていることでしょう。その日以来、毎晩のように、母親はクリスマスキルトで体を包み、思い出に浸り、イエス・キリストの贖いと復活のおかげで家族が再び一つとなる日を夢見るようになりました。■

ジェッド・バックー
(アメリカ合衆国、ユタ州)

ミシンの前に座って、表地と裏地になる2枚のフランネルの布を縫い合わせます。表地は、子供用にデザインされた淡い色の模様で飾られ、裏地は、表地の模様とよく調和した色をしています。それがわたしの縫っている赤ちゃん用おくるみです。

ワードの扶助協会が、貧困地区や被災地区の新生児用キットを集めています。わたしは専門の裁縫師ではありませんが、協力することにしています。このプロジェクトのために布を選び、おくるみサイズの四角い布を裁断するのを楽しんでいます。

まず、表地と裏地を中表に(表が内側になるように)合わせ、後でおくるみを表に返せるように開け口を残して、周囲を縫っていきます。それから、端をぐるりとかがり縫いをし、四隅には切り込みを入れます。次に、色鮮やかな方が表に来るようにおくるみをひっくり返し、開け口を縫って閉じます。

次に、先ほどの縫い目を補強するために、端ぎりぎりのところを一周して縫います。布を慎重にミシンの上に置き、早いペースで縫い始めます。家事を再開できるよう、さっさとこの作業を終わらせようとしていると、ある考えが思い浮かびます。「今縫っているこのおくるみが幼子イエスのものだったとしたらどうだろう。」

その考えが浮かんだとき、縫い目がまっすぐになるよう、ゆっくり、また細心の注意を払います。しかし、慎重に縫っていても、縫い目はまっすぐになりません。

さらに、おくるみの中央を、25センチ四方に縫って、表地と裏地を固定します。それには、厚紙で型紙を作り、その型紙をおくるみの中央に置き、その周りに軽く印を付けます。そしておくるみをミシンの上に置き、針をそっと下ろし、注意深く縫っていきます。

縫い終わったら、余分な糸を切り取り、完成したおくるみを広げます。ところが、四角い形をしておらず、少々、台形や平行四辺形に見えます。

そのおくるみを片付け、新しいフランネルの布を取り出し、最初からまた始めます。主にふさわしい贈り物とするためにさらに一層の努力を払います。しかし、より一層の努力を払っても、結果はほんの少し良くなるだけです。自分が縫ったおくるみはどれも不完全なのです。

どのおくるみも展示会に出品することはできないと思います。少なくとも今年は。練習し続けたら、恐らくいつの日か、出品できるでしょう。

そのとき別の考えが浮かびます。「完全に縫い終わるまで待っていたら、幼子キリストはエジプトに行ってしまう。」

わたしは分かっています。そんなことをしていたら、奉仕の機会は終わってしまうでしょう。救い主は、たとえ不完全でも、最善の努力をするときに、わたしたちのささげ物を受け入れてくださいます。柔らかで、清潔なおくるみに包まれた新生児は、きちんと四角い形をしていないからといって、眠ることを拒否するなどということはないとわたしは知っています。

わたしの努力は世の人々のために少しは役立つだろうかと思い巡らすとき、キリストの次の助言を思い出します。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」(マタイ 25:40)

そのようなわけで、わたしはおくるみを縫い続けます。できるだけすてきなおくるみになるよう努力します。しかし、それが完全なおくるみを縫うことのできる将来のあいまいな時ではなく、今この時に必要なおくるみであることを知っています。■

ジーン・ヘーデングレン・モールトリー
(アメリカ合衆国、ワシントン州)

最高のクリスマスプレゼント

クリスマスイブのこと、わたしたち家族は、例年どおり、クリスマスを祝うために集まっていました。時計が今まさに午前0時を打とうとしたときに、父がわたしたちを集め、皆に見せたいものがあると言いました。

クリスマスに付き物のありとあらゆる準備や興奮の中、姉妹も母もわたしも、その特別な日のために父が何を準備していたのか気づきませんでした。わたしたち全員がくつろいだ気分で集まると、父はスライドを見せ始めました。

救い主の絵、クリスマスのいろいろな場面、念入りにデザインされた言葉の特徴とするそのスライドショーで、父はわたしたちに愛を伝えてくれました。また、父が作ってくれたスライドは、わたしたちにクリスマスの真の意味や、

救い主の降誕のゆえに感じるべき幸福と感謝の念を思い起こさせてくれました。また、色鮮やかなクリスマスツリーを映した一つのスライドは、次のような言葉に焦点を当てていました。「今年のクリスマス、イエス・キリストの愛がわたしに新たな命をもたらしてくれる。」

父のスライドショーで最も特別なことが起こったのは、わたしたちに最高の知らせを伝えてくださった救い主の絵のスライドを父が使ったときでした。それは単なる知らせではありませんでした。最高の知らせだったのです。救い主の上に、次の言葉が表示されました。「わたしは、末日聖徒イエス・キリスト教会で、バプテスマを受けると決心しました。」

父がやっと教会に入ると決心してくれたのです。そのような決心をするのが簡単な人もいるかもしれませんが、わたしの父にとっては簡単ではありませんでした。父は、25年の間、福音を研究し、教会について学んだのです。わたしたちは最善を尽くしましたし、宣教師は何度もレッスンを行いましたが、それでも父はバプテスマを受けませんでした。わたしたちはその理由が分かりませんでした。しかし、父に準備ができていないことは分かりました。

確かに、父は絶対にバプテスマを受けないと思ったことも何度かあります。しかし、心の奥底で、わたしは決して希望を捨てませんでした。また、わたしたちは皆、父のために祈り続けました。クリスマスイブに、主はわたしたちの祈りにこたえてくださったのです。

父がバプテスマを受ける決意を告げたとき、最初は、喜びのあまり泣くことしかできませんでした。わたしたちは、胸の高鳴りと驚きが入り混じった気持ち、また何よりも表現し難い大きな幸福を感じました。

父の決意表明は、クリスマスイブを変えただけにとどまりませんでした。わたしたち家族全員の人生を変えたのです。わたしたちは個人として、また家族として、まだ成長すべき部分があります。しかし、教会にともに集うようになった今、前進することがより良いことだと知っています。

わたしはこの祝福を主に心から感謝しています。数か月後、わたしたちは神殿で家族として結び固められます。父の発表は、確かに、最高のクリスマスプレゼントでした。■

アドリアナ・ナーバ・ナーボ
(ボリビア)

父のスライドショーで最も特別なことが起こったのは、わたしたちに最高の知らせを伝えてくださった救い主の絵のスライドを父が使ったときでした。



トタン板の下のクリスマス

第二次世界大戦中、フィリピンのマニラに駐在していたとき、わたしはよく少人数の末日聖徒の軍人とともに聖餐会を開きました。ある集会を開いていたときのことで、爆撃で大破したわたしたちの建物の後方に、かつては扉があった所からこちらをのぞき込んでいるフィリピン人の女性がいるのに気づきました。わたしは自分たちの歌声に引かれたのかと思いました。わたしたちが閉会の祈りに当たり目を閉じている間に、この女性はそっと立ち去りました。

ある日のこと、わたしたちは続けて訪問する彼女を集会に誘いました。彼女は、アニセタ・ファハルドという名前で、わたしたちの友情を心から歓迎してくれました。わたしたちの集会に出席し続けるうちに、彼女はイエス・キリストの回復された福音について知りました。

クリスマスが近づく中、わたしたちはアニセタとその家族に、何かクリスマスプレゼントを贈ることにしました。わたしたちは缶入りミルク、肉、野菜、何枚かの毛布、またアニセタの病気の孫息子を治療するためのペニシリンを含む医療キットを集めました。

クリスマスイブに、わたしたちは贈り物を集め、アニセタの家へと向かいました。彼女は、バラバラに吹き飛ばされた建物の一部であるれんが造りの壁に立てかけたトタン板の下で、娘そして孫息子と一緒に暮らしていました。わたしたちはそのようなほとんど野ざらしの状態、また1年のうち熱帯雨が降る頻度のきわめて高い時期に、どうして生き残ることができるのか不思議に思いました。

一緒に行ったうちの一人が、マンゴーの木から枝を1本引き抜くと、それを

クリスマスツリーとして、地面に突き刺しました。わたしたちは地面に落ちているごみを拾ってから、ツリーの飾り付けをしました。

アニセタとその家族は、喜びと驚きの表情を浮かべて、そのツリーを見ました。わたしたちが持って来た贈り物を見たとき、彼らの喜びは幸福と感謝の涙に変わりました。長い間、そのような食べ物を見たことも食べたこともなかったのです。彼らは大粒の涙を流し、しばらくの間、話すことができないほどでした。

クリスマスイブだったので、わたしたちは故郷や愛する人たちのことを考えました。わたしはといえば、ちょうど2日前に受け取った海外電報のことを考えました。最初の子供が生まれたという電報でした。わたしたちは自分たちの気持ちを分かち合い、最後には救い主と回復された福音について証あかししました。

わたしたちはこのすばらしい家族に、

一緒に行ったうちの一人が、マンゴーの木から枝を1本引き抜くと、それをクリスマスツリーとして、地面に突き刺しました。アニセタとその家族は、喜びと驚きの表情を浮かべて、そのツリーを見ました。

救い主が彼らを確かに愛しておられることを伝えました。彼らはわたしたちの言葉に慰めを見だし、平安な気持ちが夜の空気を暖めてくれました。それからわたしたちはこの愛する友人たちに、楽しいクリスマスが過ぎますようにと言って別れを告げました。

それからしばらくして、わたしは新しい地域に転任しました。アニセタやその家族に二度と会うことはありませんでした。しかし、何年もたって、『教会年鑑』(Church Almanac)を開いたとき、そこにアニセタ・バビロナ・ファハルドは、この国で教会に加わった最初のフィリピン人であると書かれていました。¹ 1945年のあのクリスマスの時期に植えられた種のことについて思いをはせるのは、わたしにとって実に大きな祝福となっています。■

アーウィン・E・ワークス
(アメリカ合衆国、アイダホ州)

注

1. "Philippines" *Deseret News* 1991 - 1992 *Church Almanac*, 157 参照: Church Almanac の最新版で、ファハルド姉妹の名前は "Aneleta" とつづられている。



あらゆる難問への
答え





原則を守る勇気

「大衆受けする考え方という変わりやすい不安定な砂地に根を下ろすなら、信念を確固として保つことは不可能です。……わたしたちは皆、恐れを感じたり、あざけりを受けたり、反対に遭ったりすることがあるでしょう。わたしたち皆が世間に迎合しない勇気、原則を守る勇気を持ちましょう。」

トマス・S・モンソン大管長
「強く、また雄々しくあれ」
『リアホナ』2014年5月号、68 - 69

答えを見つけ出す

難しい疑問についてさらに深く研究するには、他にも役に立つ資料がオンライン上にあります。特に lds.org/topics と history.lds.org をご覧ください。

人の見解よりも明瞭だ^{めいりょう}ということを信じてください。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。」(イザヤ 55:8-9)

原則2 — 神はその知識の一部を教えてください。原則1から当然引き出せる結論として、神は持っておられる知識を、受け手であるわたしたちの用意の程度に応じて幾らでも分け与えてくださいます。神にはその用意があります。わたしたちはただ、それを受けられるよう準備を整えて、求めればよいのです。聖文の中には多くの疑問の答えがあります。この人生の最大の喜びの一つは、熱心に研究した見返りとして、「ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加え〔て〕」聖霊から聖文を使って教えていただけることです(2ニーファイ 28:30)。

中には、特に歴史的な内容の疑問ですが、論理立てた説明のできるもの、真摯^{しんし}に研究して物事が明らかになればなるほどわたしたちの視野も開けてくる疑問もあります。

わたしたちはまた、生ける預言者や使徒から天の靈感に導かれた教えを受けられるという祝福にも恵まれています。「様々な教の風^{おしえ}に吹きまわされたり、もてあそばれたりする」必要はありません。預言者と使徒による万人に向けた導きに頼れば、「すべての者が……信仰の一致と……〔神



の子を〕知る知識の一致とに到達」できるのです(エペソ4:11-15参照)。

原則3 — 神の愛に頼ることができる。神は、想像をはるかに超えるほどわたしたちを愛しておられます。わたしたちは神の子供であり、神はわたしたちが神のようになれる成熟した栄光ある存在になってみもとに戻ることを望んでおられます(モーセ1:39参照)。神がわたしたちにお与えになる勧告は全て、わたしたちに永遠の祝福を与えようという非常に深い愛の産み出したものです。わたしたちはこの愛に完全にすがってよいのです。

「神よ、あなたのいつくしみはいかに尊いことでしょう。人の子らはあなたの翼のかげに避け所を得〔ます。〕」(詩篇36:7)

原則4 — 霊的な承認を受ける必要がある。世のこれほどまでに多くの知恵が神の知恵に反しているように見えたとしても、驚くには当たりません。結局のところ、神の計画により、

わたしたちは神の前と御心^{みこころ}から切り離された墮落した世で生きているのです。このような状況で神に関わる事柄を理解するのは至難の業です。「いったい、人間の思いは、その内にある人間の霊以外に、だれが知っていますか。それと同じように神の思いも、神の御霊^{みたま}以外には、知るものはない。……

生れながらの人は、神の御霊^{たま}の賜物を受けられない。それは彼には愚かなものだからである。また、御霊によって判断されるべきであるから、彼はそれを理解することができない。」(1コリント2:11, 14)

神に関わる事柄を理解しようとする場合、人の知恵のみに頼ってはいけません。神の御霊を受ける必要があります。「それによって、神から賜った恵みを悟るためである。……御霊の教える言葉を用い、霊によって霊のことを解釈するのである。」(1コリント2:12-13)

わたしたちはバプテスマを受けて

キリストの教会の会員に確認されると、聖霊の賜物を与えられます。その賜物があると、御霊から学ぶことができ、御霊に真理^{あかし}を証していただいて良い気持ちを感じることができます。そのような霊的な確認を受けると、疑う気持ちはなくなります。いかに説得力のある論理を用いても、これほどまで確実に疑念を晴らすことはできません。しかもこの霊的な確認は、心から祈り、熱心に研究し、主の戒めに従う者には誰にでも与えられるのです。

「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」(マタイ7:7)

原則5——主を待ち望む必要がある。時にわたしたちには、なぜこんな試練や問題があるのか、どうあがいても理解できないことがあります。どんなに努力しても理解できないのです。天が閉じたかのように思えます。そんなときには、神を信頼してください。そうすれば、忍耐して神を

待ち望むことができるようになります。全ての疑問の答えが直ちに与えられるわけではありませんし、この世では与えられない答えもあります。肉体と霊が分かれるまで取り除かれることのない試練もあります。しかし、もしも他の何よりも神を愛するのであれば、神が自分を愛しておられることを信じていることができるのであれば、幕が取り払われて全てが明らかになる日が来るまで、わたしたちは信仰をもって堪え忍ぶことができるようになるでしょう。

「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主はそれをなすとげ、あなたの義を光のように明らかにし、あなたの正しいことを真昼のように明らかにされる。

主の前にもだし、耐え忍びて主を待ち望め。」(詩篇37:5-7) ■

注

1. ディーター・F・ワークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、23参照





中央若い男性会長
デビッド・L・
ベック

救い主と^{せいさん}聖餐

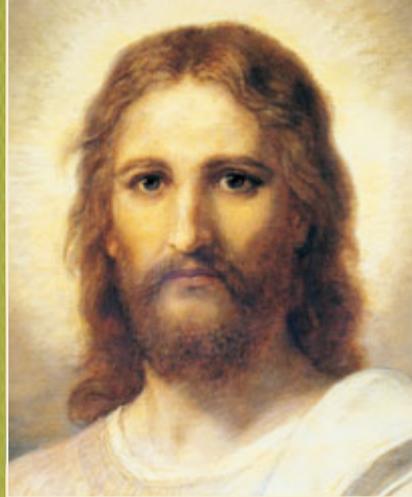
聖餐に関するわたしの経験

物 心がついたときから、聖餐の間はイエス・キリストについて考えるように教えられてきました。昨年12月に初めて聖餐のバスをしたとき、平安で神聖な気持ちになりました。自分がしていることは、人々がキリストのもとに行くのを助けているのだと御霊が教えてくれるのを感じました。天の御父がわたしを信頼してくださり、御父に仕え、他の人々の助けとなれるようにしてくださっていることに感謝しています。

ジェイコブ・R, 12歳
(アメリカ合衆国アイダホ州)

聖餐を受けるとき、
救い主をいつも覚える
という聖約を
新たにします。





救い主を覚える

あなたと家族が救い主を覚えるのに役立つよう、lds.org/go/491214に掲載されている「わたしに従ってきなさい」のレッスン概要「ほかの人にとって聖餐をより意義深いものにするにはどうしたらよいでしょうか」を学習してみてください。同ページにあるビデオ「いつも御子を覚え」は、家庭のタペで用いるのに有益なリソースとなるでしょう。

理を知る」ことができます（モロナイ10：5）。そうすれば、主が望まれる生活を送るため、また正しい選択を行い、忠実に奉仕し、主に似た者となるための、力と知恵を与えられます。

毎週、聖餐を受けるとき、皆さんは主を覚えるために何をしたらよいでしょうか。一週間ずっと、そして生涯にわたって、主をいつも覚えるために何をしたらよいでしょうか。

皆さんに勧めます。これらの質問について深く考え、救い主を常に覚えることを決意してください。そうすれば、驚くほど人生が変わるでしょう。



注

1. ジェフリー・R・ホランド「『わたしを記念するため、このように行いなさい』」『聖徒の道』1996年1月号、73参照

聖餐のパンと水を取ったり、聖餐を準備し、祝福し、配ったりするとき、どんなことについて考えていますか。多くの人は交わした聖約や生き方について深く考えます。自分の罪について考え、赦しを求めて祈り、より善い人になろうと決意します。

これらは聖餐の儀式の中で大切な側面です。さらに他にも深く考えるべきことがあります。とても深遠で特別なことであるため、聖餐の祈りそのものの一部となっています。それは、イエス・キリスト、すなわち神の御子、世の救い主を覚えることです。パンを食べる人は「御子の体の記念に〔それ〕を頂」き、「いつも御子を覚え」と約束します（教義と聖約20：77）。同じように、水を飲む人は「御子の血の記念に〔それ〕を頂」き、「いつも御子を覚えていることを」約束します（教義と聖約20：79）。

救い主と主の贖罪と犠牲を覚えるという選択は、聖餐式の基本です。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が教えているように「簡潔で美しい言葉でささげられる聖餐の祈りの中で、……わたしたちが耳にする大切な言葉は『覚える』という言葉

だと思います。……どちらの祈りにおいても強調されていることは、全てキリストを記念して行うということです。ですから聖餐にあずかるときわたしたちは、いつも御子の御霊を受けられるように、御子をいつも覚えることを証明するのです。』¹

救い主は同じ点を強調しておられます。現世での務めを終える前夜、すなわち十字架での苦しみに先立ってゲツセマネの園でわたしたちのために苦しみを受けられる夜に、主はエルサレムで使徒たちと過越の祭を祝い、聖餐を定められました。使徒たちにパンを与え、「これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」と言って、手本を示されました（ルカ22：19。マタイ26：26－28も参照）。

救い主はアメリカ大陸にいるニーファイの民を訪れた最初の日、やはり民に聖餐式について教えられました。主はまた、御自身の体と血を記念して聖餐を取るように命じられ、そうするとき「それは、あなたがたがいつもわたしを覚えているということを、父に示す証となる」と言われました（3ニーファイ18：7）。そして、「あなたがたは、いつもわたしを覚えているならば、わたしの御霊を受けるであろう」と約束されました（3ニーファイ18：7、11）。

何とすばらしい祝福でしょうか。絶えずわたしたちを惑わそうとする、困難と混乱と誘惑に満ちた世にあって、これ以上に大切な賜物があるでしょうか。御霊がともにあることによって、わたしたちは「すべてのことの真





新しい 改宗者 になる

というのは どのようなことでしょうか

改宗したばかりの教会員が末日聖徒の文化に順応し、福音の中で進歩する力を見いだすのを助けるために、わたしたちはどうすればよいのでしょうか。

教会の中で育つ人にとって、教会の決まり事を守るのはごく当たり前になります。毎週集会に集うこと、集う建物や、教会に着てくる服装に慣れてしまうのです。聖餐会せいさんで話したり、什分の一と断食献金を納めたり、毎月断食したりすることは、日常生活の一部となります。知恵の言葉を守り、奉仕の召しを受け、純潔の律法を守り、誰だれもが身につけていくことなのです。

しかし、改宗者にとって、これを全て受け入れるには生活を大きく変えることになりかねないのです。確かに、福音の真理あかしに対する証を得ることは、キリストの教会の会員となるための第一歩です。とは言え、従来しゆらいの生活から教会員としての生活に移行することは、証があればたやすいというわけではありません。

教会は別世界のように思えることもあります

例えば、わたしの場合はこうでした。13歳のときから末日聖徒の友達ともだちがいて、ようやく19歳のときに教会に入りました。その間、教会特有の文化についていろいろ学んでも、生活を変えるのは大変でした。教会の文化や習慣があまりにも違いすぎて、奇妙に思えたのです。

わたしが行っていた教会は、皆さんが知っているこの教会、あるいは知り始めているこの教会とはずいぶん違います。その教会では牧師や聖歌隊が、高校の卒業式そつぎょうしきに着るようなローブを着ていました。礼拝集会、すなわち聖餐会に相当する集会では、牧師だけが説教をしてずっと話します。毎週日曜日に皆で「主の祈り」を唱え、いつも賛美歌「愛の神、賛めよ」を歌いました。赤ん坊は頭に水を振り掛けてもらってバプテスマを受けますが、確認の儀式は14歳くらいになってから行われました。

聖餐の水の代わりにぶどうジュースが使われました。高校生は大人と一緒に日曜学校にやうがくに出席し、そこでは時事問題について話し合われました。



建物も、わたしが訪れたどの末日聖徒の建物とも違いました。ヨーロッパのキリスト教会の様式で建てられた大きな礼拝堂がありました。屋根が高くそびえ、スタンドグラスの細長い窓がありました。聖歌隊が立つ中2階には十字架がありました。建物の正面には、美しい、高い鐘楼しやうろうが立っていました。わたしは教会の礼拝集会后でその鐘を鳴らすのが大好きでした。とても重たい鐘で、上下するロープにつかまれば小さな子供なら体が浮いてしまうほどでした。

その教会では習慣や社会的な信条も違いました。飲酒や喫煙は問題ないと教えられていました。10代のうちに恋人を持って大丈夫でした。実際のところ、愛し合っていると思えば、結婚前でも性的な関係を持ってよいと教えられました。証を持つことについては、一度も話題に上ったことがありませんでした。初めて断食証会を見たときは、本当に驚いて、とても変な感じがしました。わたしの行っていた教会では、立ち上がって自分の信仰について話す人などいなかったからです。

末日聖徒イエス・キリスト教会に入ることは、単に前世や死者のためのバプテスマなどの新しい教義を学ぶだけのことではありませんでした。文化と生活様式と期待されることが変わったのです。これらの差を埋めることは、大変な道のりでした。

バプテスマの後、
最初の6か月が一番大変で、
危うく挫折ざせつするところでした。

**あまりにも全てが
違いすぎたのです。……**

バプテスマの後、最初の6か月が一番大変で、危うく挫折ざせつするところでした。あまりにも全てが違いすぎたうえに、家族と一緒に教会に行っていたわけではないので、余計にそう感じました。過去の慣れ親しんだ生活を捨てがたい気持ちがあるだけでなく、一部の教義についてもまだよく分かりませんでした。

幸い、この教会の友達に忍耐強く、親切で、いつも変わらぬ態度で接してくれました。わたしを活動に連れて行き、夕食や家庭の夕べに招き、一緒に祈ってくれました。これはわたしが教会に入るときだけでなく、教会に活発に通い続け、証が揺れ動いたときに立て直す強さを見いだすうえで大きな力となりました。問題を解決できたのは、彼らによるところが大きいです。

ある二人の若い会員が教会に入ったときの経験と、教会に活発に集い続ける力を見いだした方法を以下に紹介します。

彼らの経験を読みながら、新会員や教会に戻って来た人が社会的にも文化的にも教会に慣れて、霊的に進歩する力を見いだすのを助けるにはどうすればよいか考えてみましょう。

何年も待ちわびたバプテスマ

高校生のとき、わたしは英会話で宣教師と出会い、一緒に学んだ後で教会に入ろうと決心しました。バプテスマを受けたいと両親に話すと、かなり渋い顔をされました。二人とも教会についてほとんど知らなかったし、何か危ないことに巻き込まれるのではないかと心配しました。教会が学業の邪魔になるのではないかと、そして教会のいろいろな規則のせいでわたしが人生を楽しめなくなるのではないかと考えました。2年半の間、両親はバプテスマを許してくれませんでした。

わたしは初めから信仰を試されました。バプテスマ前の数年間、わたしは強さと信じ続けるために必要な信仰を求め、



自分の信仰と証は、

祈り、聖典、

現代の預言者の言葉を通して、

一人で

育まなければなりませんでした。

改宗者が直面する問題

以下は、改宗したばかりの人たちが直面する問題の一例です。皆さんの友情は、彼らが問題に対処するのにどのような助けとなるでしょうか。

1. 新しい教義をなかなか理解できない。
2. 今までと違うメディア、音楽、映画、本を選ぶ。
3. 聖典の用語を理解する。
4. 末日聖徒ではない家族や友達に受け入れてもらえない状況に対処する。
5. 今までと違う服装をする。
6. 教会やセミナーに出席する時間を取る。
7. 礼拝のための新しい方法や慣例を身につける。
8. 習慣や言葉遣い、考え方を変える。
9. 末日聖徒特有の社交術に順応する。
10. 福音、背教、回復など、末日聖徒特有の用語を学ぶ話し合いに参加する。

繰り返し祈りました。教会に行ったり、会員や宣教師と接触したりすることはできませんでした。自分の信仰と証は、祈り、聖典、現代の預言者の言葉を通して、一人で育まなければなりませんでした。たくさんの興味深い集会や楽しい活動に参加できませんでした。

大学に行くためにローマに引っ越した後、両親が非常に怒っているときに、ビショップは真の友としてわたしを助けてくれました。ビショップは、どんなことがあっても両親を愛することが大切であると教えてくれました。

ついにバプテスマを受けたとき、ワードの多くの会員が来て、支えてくれました。わたしは聖歌隊に入り、そこでたくさんの仲間を作りました。彼らの友情と優しさのおかげで、わたしは打ち解けることができました。

イエス・キリストの教えを忠実に守り、主の模範に従って愛し世話をすると、改宗したばかりの人や求道者は、わたしたちが口で言うだけでなく、言ったことを実行することが分かるのです。

オッタビオ・カルーンはイタリア出身で、現在専任宣教師として奉仕しています。

なじめなかったわたし

わたしは13歳のときに教会に入りました。福音について証がありました。教会にあまりなじめないという気持ちが出てはなりません。他の人は皆、賛美歌や聖典の物語をよく知っていましたが、わたしは知りませんでした。誰もが初等協会の活動や家庭の夕べのレッスンにまつわる思い出を持っていましたが、わたしはどれも経験したことがありませんでした。

それ以上に、映画から政治、さらに

皆善い人だし、

わたしも善い人間だけど、

いろいろな点で 違いすぎる。

わたしの居場所は

ここにはないわ。

は聖文の解釈まで、皆があらゆることについて同じ関心や意見を持っているかのようなのでした。しかも、その意見は時折とても強いうえに、わたしと正反対でした。皆がうなずく姿を見て、わたしは内心こう思ったものです。「皆善い人だし、わたしも善い人間だけど、いろいろな点で違いすぎる。わたしの居場所はここにはないわ。」

何年もの間、そんな思いを抱いて苦しんでいました。ある日、わたしはルカ19章のザアカイについての話を思い出して、読み直しました。ザアカイは取税人だったので、周りから嫌われ、罪人であると考えられていました。イエスが町を通られたとき、ザアカイは木に登って群衆の上から見ようとしました。人にどう思われようと気にしませんでした。木に登ったこと、すなわち群衆と違ったことをしたおかげで、救い主と非常

にすばらしい、個人的な経験をすることができました。この話を読んでいるうちに、自分を部外者と考える気持ちはキリストから来ているものではないと気づきました。イエスは全ての人を受け入れ、お赦しになります。主は周りから批判され、のけ者になっている人々、すなわち周りとは違うように思われる人々を進んで探し出されました。

教会になじめないという気持ちがまったくなくなったわけではありません。しかし、自分の外見や自分に対する周りの目、何に熱意を感じるか、世の中に対する考え方など、わたしが周りとは違うことは、教会を離れる理由にならないことが分かりました。そういう違いがあるからこそ、教会にはわたしたち全員が、すなわちさまざまな才能や長所や考え方を持った人々が必要なのです。■

イレイン・ビッカーズはアメリカ合衆国ユタ州在住です。



キリストが町を通られたとき、ザアカイは木に登って群衆の上から見ようとしました。

話し合いに参加する

深く考える事柄

- 一部の人のとって、教会に入るのが難しいのは、どんな変化があるためでしょうか。
- あなたの友情は、誰かが教会に戻ったり、活発でい続けたりするのにどのような助けとなるでしょうか。

実践してみる事柄

- 改宗者がしばしば克服しなければならない問題のリストを作り、彼らを助けるための目標を立てる。
- 最近改宗した人や教会にあまり活発でない友達に、あなたが担当するクラスや定員会の活動を手伝ってもらえないか頼む。
- 自分が経験したことを教会や家庭で話したり、インターネットで紹介したりする。

「教会の標準に従っているために学校でばかにされたときには、どうしたらよいのでしょうか。」

教 会の標準に従っているためにばかにされるなら、それをイエス・キリストの代表となる機会と捉えることができます。礼儀正しく、慈愛を示しましょう。聖霊のささやきを感じたら、自分がどうしてそのような生活をしているのか説明してもよいかもしれません。自分の標準を説明する助けとして『若人の強さのために』を使うことを考慮してください。生活の中に御霊を招いてください。そうすれば、御霊が皆さんの友達^{みなな}の心を動かしてくださいます。御霊があなたを助け、何を言ったらよいかを教えてください。

両親や教会の指導者や専任宣教師から助言をもらうこともできます。同じような状況に遭ったとき、どのように対処したかを彼らに尋ねてください。

時には自分の信条について反論したいという誘惑に駆られるかもしれません。しかし、「争いの心を持つ者は〔キリスト〕につく者ではな〔い〕」ことを忘れないでください（3 ニーファイ 11：29）。

またある時には、圧力に屈して教会の標準に従うのをやめようと思うかもしれません。強くあってください。確固として立つことによって、あなたの生活が祝福されて平安を感じるだけでなく、あなたの友達の生活も祝福される可能性があります。あなたの模範は、彼らが義にかなった決断をする励みになるかもしれません。

救い主の模範に倣って強くなってください。救い主は真理を守ったために嘲りを受けられました（イザヤ 53 章参照）。主はあなたの気持ちをよく御存じです。主はあなたのために贖罪^{しよくざい}を果たし、あなたが直面しているのと同じ試練を経験されました。主はあなたとともにおられます。主の生涯についてもっと学び、このような状況に遭うときに主のようになれるようにしてください。

鉄の棒につかまる



学校で人にばかにされるとき、ぼくはリーハイが示現で見た大きく広々とした建物のことを考えます。「その建物は、老若男女を問わず人々でいっぱいであった。この人々の衣服の装いは、非常に華やかであった。そして彼らは、その木の所までやって来てその実を食べている人々を指さし、あざけり笑っている様子であった。」（1 ニーファイ 8：27）ぼくはリーハイのようになります。永遠の命に導くこの鉄の棒を絶対に放しません。

ピエール・S, 18 歳（ハイチ）

福音を伝える



友達と二人で「成長するわたし」プログラムの「徳——徳質のプロジェクト」に取り組んでいたとき、わたしたちは学校の休み時間にモルモン書を読んでいた。先生とクラスメートがわたしたちをからかい始めました。時々読むのをやめたいと思いましたが、どうしても聖典を家に置いたままにしておけませんでした。学校で読み続けていると、そのうちからかう人はいなくなりました。やがて、友達の一人が福音と『成長するわたし』に興味を示しました。わたしたちは彼女に『成長するわたし』の小冊子と末日聖典合本をあげ、それ以来、彼女に福音について話しています。彼女の兄弟も福音に興味を持つようになりました。二人ともモルモン書を読んでいます。

キンバリー・A, 16 歳（ブラジル）

模範となる



わたしの学校では、福音をよく知っている生徒はあまり多くいません。最善の方法は、福音に従って生きることのできるような良い影響があるかを、身をもって示すことだと思います。どんなことを言われても親切で礼儀正しくしていれば、素晴らしい模範になりますし、彼らもあなたとあなたの信条に対してもっと敬意を示すようになるでしょう。あなたの模範を忘れずに、同じ人々が後になって福音についてもっと知りたくなると思うようになるかもしれません。

ケルシー・P, 14歳
(アメリカ合衆国, フロリダ州)

証を分かち合う

標準に従うことで得られる祝福を知れば、ばかにされても恥じる必要がなくなります。彼らに標準を教え、それに従って生きることについて証を分かち合うことができます。あなたが福音について証を分かち合っていることで、友達は理解し、御霊に満たされるかもしれません。

エマニュエル・A, 16歳 (ガーナ)

自分が何者であるかを忘れない



クラスメートだけでなく親しい友達も、学校行事のために神の目から見てふさわしくない服を着るようになつていいます。彼女たちは、「かわいく見えなくちゃ。見た目を変えなくちゃ」といいます。時々、世の中に溶け込むために自分の信条を忘れるべきだと言われ

ます。でも、わたしはいつも、それはできないと言います。わたしは、自分らしくあることは信仰に忠実に生きることであり、それは世の標準とは異なることだと知っています。わたしが自分らしく生きるのを気に入らない友達がいても大丈夫です。大切なのは人の意見ではありません。天の御父の方法に従うことが大切なのです。

ジャジー・C, 19歳 (フィリピン)

宣教師になる



学校で福音の標準に従うことについて、たくさん経験してきました。その結果、それがわたしたちにとって自分の証を強め、伝道の業に携わる素晴らしい機会であると学びました。このような状況で自分の標準を高く保てたときはいつも、神が望んでおられるように行動できた自分に喜びを感じることができました。あなたが何者であり、何を信じているかについて誰にも疑問の余地がまったく残らないようにしてください。

ハイラム・D, 18歳 (ブラジル)



証を養う

「真理と正義を固く守る勇氣を持ってください。今日の社会は、主がお与えになった価値

観や原則から離れる傾向にあるため、皆さんは自分が信じるものを守ろう求められることがきっとあるでしょう。証がしっかり根付いていないと、皆さんの信仰に疑問を投げかける人々の嘲りに立ち向かうことは困難になります。……絶えず養いを与えるなら、証が皆さんを安全に守ってくれます。」

トーマス・S・モンソン大管長
「勇氣を持てるように」
『リアホナ』2009年5月号, 126参照

次回の質問

「自分は
マイアメイドクラスの会長
として力不足だと感じます。
どうすれば
もっと良いリーダーに
なれるでしょうか。」

あなたの意見をお聞かせください。2015年1月15日必着でLds.org/liahona?lang=jpnから投稿するか(「投稿する」をクリック)、liahona@ldschurch.orgまで電子メールでお送りください。郵送することもできます(郵送先については3ページをご覧ください)。希望する場合は、高解像度の写真も添付してください。

電子メールまたは手紙には、次の情報と承認の意思を必ず明記してください。(1)氏名、(2)生年月日、(3)ワードまたは支部、(4)ステークまたは地方部、(5)意見と写真の掲載を許可するというあなたの同意文(18歳未満の場合は保護者の同意文も必要です(電子メール可))。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

天使は必要ありません

あのクリスマスの朝、グアテマラの病院を訪れたわたしたちには
天使に歌を歌ってもらうことはできませんでした。でも、自分たちで歌うことはできました。

ジェニアン・ジェンセン・ニールセン

花 火や爆竹、色鮮やかに再現されたキリスト降誕の場面、タマーレ（訳注——トウモロコシの粉で作った生地でローストポークなどの具を包み、トウモロコシの皮で包んで蒸した料理）が主役のごちそうの数々——それがグアテマラ流のクリスマスです。専任宣教師だったわたしにとって、それは慣れ親しんだアメリカ合衆国の伝統とはずいぶん違っていました。わたしはホームシックで、その年のクリスマスは惨めなものになるだろうと思っていました。

同僚のアナヤ姉妹は、人に仕えることでクリスマスの喜びを見いだせると言いました。そして、病院に行き、午前中歌を歌って過ごそうと提案しました。わたしたちは他の宣教師たちにも声をかけ、一緒に行くよう誘いました。

病院の入り口に近づくと、愛する人に面会に来た大勢の人々が列を作って順番を待っているのが見えました。彼らの表情は悲しそうで、サンダル履きの足はほこりにまみれ、服は色あせていました。わたしたちは彼らと一緒に待ちました。ようやく建物に入ることができ、緑色のペンキがはがれかかった壁とセメントの床がある狭い廊下を進んで行きました。葉の臭いと病気をもたらす雰囲気によって圧倒されました。

薄暗い明かりの中、空調設備もプライバシーもない大部屋でベッドに横たわる患者たちが見えました。ある人は包帯を巻かれ、ある人は点滴の管をつけ、またある人は人工呼吸器につながっていました。ひっそりとうめき声をあげる人たちもいました。眠っている人たちもいました。わたしはどうして来てしまったんだろうと思いました。わたしたち宣教師のグループは、ほとんどがどうしたらいいか分からないまま

出入り口に立っていました。

でも、アナヤ姉妹は違いました。彼女はベッドを一つ一つ回って病人に挨拶をし、気分はどうかと尋ね、クリスマスのお祝いの言葉を伝えました。姉妹の大胆な行動を目にして、わたしたちは訪問の目的を思い出し、クリスマスキャロルを歌い始めました。最初は小さな声で、でも歌うにつれてだんだん自信が出てきました。患者の中にはほほえむ人たちが、気づく様子もなく横になっている人たちが、そして歌に合わせてハミングする人たちもいました。

賛美歌集を手を持ったアナヤ姉妹は歌いながら、包帯を巻かれた女性に近づきました。女性は静かに泣き始めました。同僚は彼女の髪を優しくなでてあげました。女性は涙ながらに言いました。「あなたたちは天使です。あなたたちは天使です。」

そのときのアナヤ姉妹の言葉を決して忘れることはないでしょう。「いいえ、あなたが聞いているのは天使の声ではありません」と彼女は言いました。「あなたが聞いているのは末日聖徒の声です。」

イエス・キリストがお生まれになったとき、一人の天使が主の降誕を告げ、おびただしい天の軍勢が神を賛美しました（ルカ2:8-14参照）。クリスマスのたびに思い出すのは、そのような天使たちのことです。

しかし、アナヤ姉妹のことも思い出します。彼女が病院で歌うよう励ましてくれたこと、そして喜びを分かち合うことによってわたしたち自身も喜びを見つけたことを思い出します。

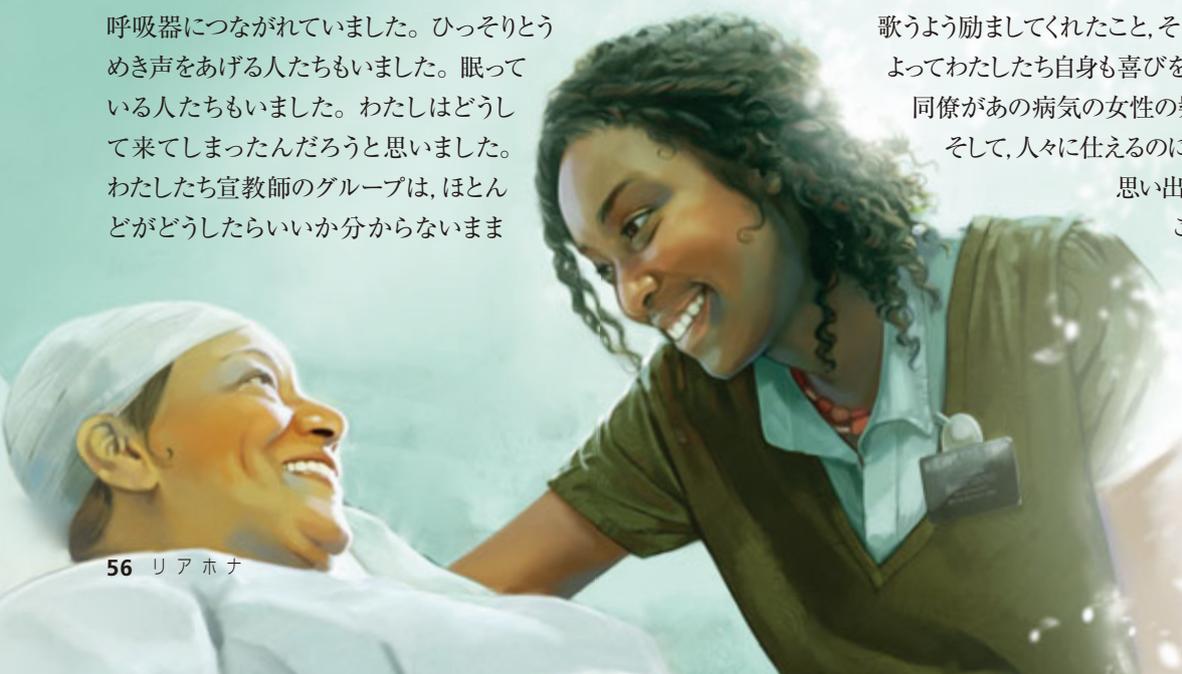
同僚がああ病気の女性の髪をなでたことを思い出します。

そして、人々に仕えるのに天使である必要はないことを

思い出します。末日聖徒として仕える

ことができるからです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。





部屋を用意しなさい

「わたしたち一人一人は、イエスのために部屋があるかどうか
決めなければならない宿の主人のようなものです！」

十二使徒定員会 ニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004 年）
「心に決めなさい」『聖徒の道』1993年1月号, 73



七十人
マービン・B・
アーノルド長老

わたしは どこにいるのか

霊的な賜物と才能を 見つけて伸ばす方法

天の御父は、あなたが
御父の望む人物になれるように
霊的な賜物と才能を
授けてくださいました。

聖文には人生について考えさせられる質問がたくさんあります。聖書で最初に投げかけられた質問の一つは、禁じられた木の実を食べたアダムに向けられたものでした。この質問があなた自身の生活にどのように当てはまるか、深く考えてみてください。

「人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

主なる神は人に呼びかけて言われた、『あなたはどこにいるのか。』(創世3:8-9, 強調付加)

主は全知の御方であられますから、アダムとエバが隠れていることを御存じだったはずです。二人のいる場所を知っておられたのなら、主の質問の趣旨は一体何だったのでしょうか。

この質問によって、アダムとエバは自分たちの生活に起こっていることについて考えさせられたはずです。わたし

たちも同じように自問することができます。例えば、永遠の命に導く聖約の道にあって、わたしたちは今どこにいるのでしょうか。天の御父は、わたしたちがこの道を歩むうえで助けとなるよう、どのような賜物や才能を前世で授けてくださったのでしょうか。また、主が望んでおられるような人物になるよう努力するうえで、他にどのような賜物や才能を身につける必要があるのでしょうか。

ジョセフ・F・スミス大管長(1838-1918年)は次のように語っています。「人〔は〕霊として天の両親から生まれ、御父の永遠の住まいで成熟するまで育てられた後に、……肉体を得て地上にやって来〔ました〕。』¹ 学習ガイド『福音の原則』はこう教えています。「天の御父は、わたしたちが生まれる前にどのような人物で何をしたか御存じです。御父は、各自に適した出生の時と場所を定めてくださいました。こうしてわたしたちはそれぞれ独自に必要な教訓を学び、**才能と人格を生かして最も善いことができるようになったのです。**」²

天の御父は、あなたが自分の霊的な賜物を使い、才能を伸ばすために

最適な場所を用意してくださいました。どこに住み、どのような生活環境にありたいと、またどのような問題に直面していようと、皆さんは成功する選択をすることができます。絶対に諦めないでください。前進し続けてください。投げ出さないでください。忘れないでください。自分に与えられたものをどのように使うかで、どのような人物になるかが決まるのです。

アダムとエバの模範は、わたしたちに多くの希望を与えてくれます。禁じられた木の実を食べないようにという戒めに背いた後、二人は美しい園から追放されます。地は呪われ、いばらとあざみが生え、二人は生きるために働き、地を耕さなければなりません。彼らは諦めませんでした。主が命じられたように働き始めたのです(モーセ5:1参照)。息子カインは非常に悪い選択をしましたが、彼らは義にかなった生活を続け、子供たちを教え続けました。

ベンおじさんの発見

わたしには、天の御父から授かった賜物と才能を常に改善し高めようと努力していたおじがいます。彼の人生か



ら、一つの話をつかち合いましょ。わたしはこの話から、賜物と才能をどのように育み、尊んで大なるものにするべきかを教わりました。

ある日、ベンおじさんが銅山で働いていると、線路のそばに曲がった古い金属片が落ちているのに気づきました。持って帰ってもよいか上司に尋ねました。すると上司はこう言いました。「ベン、そんな古い金属片なんて何の価値もないぞ。拾うだけ時間の無駄だよ。」

ベンおじさんはほほえんで言いました。「わたしには古い金属片をはるかに超えるすばらしい物が見えますよ。」

上司の許可を得て、彼はそれを家に持ち帰りました。家の作業場で真っ赤になるまでその金属を熱しました。それから、かなりの手間を要しましたが、形作ったり、曲げたりできるようになり、最終的にまっすぐに伸ばすことができました。

冷めると、その上からナイフの形を描きました。熱いブローランプ（訳注——金属細工、溶接などに用いる携帯用の火吹きランプ）を使って、金属をナイフの形に切り抜きました。それからベンおじさんは、ギザギザの切断

面を削り始め、何時間も切ったり、削ったり、研いだりして、古い金属片に改良を加えました。

来る日も来る日も、彼は上司が価値のない金属片と呼んだ物に取り組みました。徐々に、刃が姿を現し始め、やがて美しく光り輝く傑作が完成しました。

もはや必要なのは柄だけでした。ベンおじさんは森に行き、エルク（アメリカアカシカ）の枝角（訳注——枝分かれした角）を見つけました。作業場に戻ったおじさんは、角をきれいにし、切断し、磨きました。作業が終わると、それは滑らかで美しくなっていました。そして、慎重に柄をナイフに

あなたの賜物は何ですか。

白 分の賜物を見極める方法をいくつか紹介しましょう。

- 天の御父に今どのような賜物があるか尋ね、他の賜物も授けてくださるようお願いする。
- 自分をよく知っている人に尋ねる。他の人の方があなたの賜物をもっとはっきりと見てとれることがある。
- 自分の才能や霊的な賜物を見つけるために、新しい活動に参加したり、新しいスキルを学んだりする。
- 祝福師の祝福を受けていたら、それをよく読んで、どのような賜物が示されているか、あるいはどのような特定の分野で可能性があるか調べてみる。



あなたには次のような賜物があるでしょうか。

「必ずしも目立つものではありませんが、非常に大切な賜物を幾つか採り上げてお話ししてみたいと思います。その中には皆さんが持っている賜物もあるでしょう。あまり目立た

ないけれども、本物であり、価値あるものです。

このあまり目立たない賜物とは、実際どのようなものがあるのでしょうか。人に質問をする、人の話によく耳を傾ける、静かな細い声に聞き従う、人のために嘆き悲しむ、争いを避ける、人当たりが良い、むなしい言葉を繰り返さない、義を追い求める、人を裁かない、神に導きを求める、キリストの弟子としてふさわしい生活をする、人々に関心を向ける、物事を深く考える、祈りをする、力強い証を述べる、聖霊を受ける、などさまざま賜物があります。」

十二使徒定員会 マービン・J・アシュトン長老(1915 - 1994年)、
「多くの賜物」『聖徒の道』1988年1月号、20

取り付けました。かつて古くてさびついた金属片だったものが、幾つかの賞を受賞することになる美しいナイフになったのです。

わたしも皆さんも、その古い金属片のようなものです。自分の潜在能力の最大限まで達するためには、わたしたちも成形され、精錬され、磨かれなければなりません。その過程の一つが、自分の才能と賜物を発見し、強め、増やすことなのです。

ベンおじさんは、可能性の多くが表面には見えず、それを見つけ、育まなければならないことを理解していました。主はわたしたちに「熱心に最善の賜物を求め」(教義と聖約 46:8), 「すべての者が自分のタラントをさらに増すため、またすべての者がほかのタラントをまこと



に百倍も得〔る〕」よう教えておられます(教義と聖約 82:18)。では、なぜそうしなければならないのでしょうか。次の聖句にあるように、自分の才能と賜物を使って人に仕えることができるからです。「すべての者はその隣人の益を図るように努め、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことをなすようにしなければならない。」(教義と聖約 82:19) 奉仕することにより、わたしたちはさらにキリストのような生活ができるように成形されるのです。

自分の才能を見つける

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、わたしたちがどのように試練によって成形されるか教えています。「試練というものは、えてして順風満帆ふうまんぱんに思えるようなときに、重なってやってくるものです。そうした試練がもし不従順によるものでなければ、それは、皆さんにさらに成長する準備ができた、と主が感じておられるしるしです(箴言 3:11 - 12 参照)。皆さんの成長と理解じゆんと思ひやり〔二つの非常に重要な賜物〕に拍車をかけて皆さんを切磋琢磨せつさくたくまし、そこから、永遠にわたる利益を勝ち得てもらうためです。皆さんが現在の状態から主が意図しておられる状態へと移るには、かなり背伸びをしなければならず、往々にしてそれが不快感や苦痛をもたらすのです。」³

自分の才能を改善する

才能を伸ばすには努力が必要です。あるとき、スコット長老がわたしの妻にこう言いました。「デイボンナ、あなた

は絵を描くべきです。」

妻のアーノルド姉妹はそれまで一度も絵を描いたことがありませんでした。努力が必要でした。何度か絵のレッスンを受け、来る日も来る日も絵を描き続けて、膨大な時間をかけ努力をした結果、美しい絵を描けるようになりました。今わたしのオフィスの壁には、彼女の手による見事な川の風景画が飾られています。

確かに、才能を身につけるには努力が必要です。しかし、主から次のような言葉を掛けていただくとき、どれほどの喜びを感じることでしょう。「よくやった。あなたは勤勉であったから、あなたの賜物と才能を増し加えよう。」(マタイ 25:14 - 30 参照)

あなたの御霊の賜物

わたしの妻は絵を描く才能を発見しました。皆さんにはどのような賜物や才能があるのでしょうか。天の御父が皆さんに賜物や才能を授けてくださったことをわたしは知っています。どうして知っているのでしょうか。「賜物は多くあり、各人に神の御霊によって一つの賜物が与えられるのである。」(教義と聖約 46:11) 神の賜物と力は、わたしたち全員に与えられています。霊的な賜物を受けて才能を増し加え、それらを分かち合うのは、わたしたちの権利であると同時に責任なのです。

聖文にはわたしたちが求めることのできる賜物が幾つか挙げられています(例えば、教義と聖約第 46 章を参照)、実際は賜物と才能は何百とあるのです。モルモン書、特に第三ニーフアイ第 11 - 26 章を探してみると、わたしたち一人一人が手に入れること

のできる賜物と才能を数多く見つけることができます。例えば、第 11 章には、人々が天の御父の声を聞きながら、初めはその声の告げる意味が理解できなかつたと記されています。

「その声は三度まで聞こえ、彼らはこの度は耳を開いてそれを聞き、目をその声のする方へ向け〔た。〕……

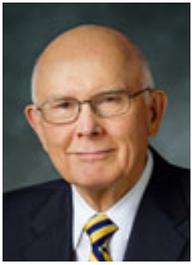
そして、彼らはその意味が分かったので、再び天を見上げた。すると見よ、天から〔キリスト〕が降くだって来られるのが見えた。」(3 ニーフアイ 11:5, 8)

はっきりと聞き、はっきりと見ることは、霊的な賜物と才能のわずか二つの例にすぎませんが、皆さんが進んで求めて努力するならば、自分のものとし、増し加えることができるのです。

一人一人がベンおじさんのように行動するようお勧めします。霊的な賜物と才能を求めるとき、全てのものの一番良い所に目を向け、周りの人々を祝福するためにそれを使うことができますように。天の御父がわたしたちに多くの賜物と才能を授けたいと願っておられることを知っています。しかし、それらは「わたしたちがそれを求めるという条件が付されている。祝福にはわたしたちによる働き、あるいは努力が必要なので〔す。〕」(Bible Dictionary, 「祈り」の項) 神が授けてくださった生来の賜物と才能を見つけ、努力し、増し加えることができますように。そして、その他の賜物も手に入れることができますように、へりくだって祈ります。■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』335
2. 『福音の原則』10, 強調付加
3. リチャード・G・スコット「主を信頼する」『聖徒の道』1996年1月号, 17 参照



十二使徒定員会
ダリン・H・
オークス長老

どのように 再臨に 備えるか

現世は人が神にお会いする用意をする時期である。』(アルマ 34:32) わたしたちは備えているでしょうか。

もし主が明日来られるとしたらどうでしょうか。早すぎる死や予期せぬ主の来臨によって、明日主にお会いすることが分かったなら、わたしたちは今日何を^{きょう}するでしょうか。何を告白するでしょうか。どのような習慣を断ち、どのような問題を解決し、どのような^{ゆる}赦しの手を差し伸べるでしょうか。また、どのような^{あかし}証をするでしょうか。

主の来臨の時にそうするのであれば、なぜ今しないのでしょうか。得られるときに平安を求めないのはなぜでしょうか。

かつては特定の場所に限定され、腫れ物のように覆いをかけられていた悪が、今や合法化され大手を振って歩いています。文明の最も基本的な

土台やとりでが、問題視され、攻撃を受けています。多くの国々で信仰の遺産が捨てられ、結婚や家族の責任は、利己的な満足を妨げるものとして軽視されています。映画や雑誌、テレビは、人の態度に影響を与えるものですが、そこには神の子供たちを残酷な野獣として、あるいは個人的な快楽を追い求めるだけの取るに足りない存在として描く物語や映像が満ちています。そしてあまりにも多くの人^がこれらを娯楽として容認しているのです。

不実、無関心、価値のない個人的な衝動が、善行や真実、美しさにとって代わろうとしているのです。驚くまでもなく、若人と大人の多くが、ポルノグラフィ、体の様々な部位へのピアス、自己中心的な快楽の追求、不正直な振る舞い、慎みのない服装、そして恥ずべき性的放縦のとりことなっています。

これは全て天の御父にとって嘆かわしいことです。御父は神の全ての子供たちを愛し、みもとに帰る妨げとなるあらゆる行いを禁じておられるからです。

わたしたちは永遠の命を得るためにどのような備えをしているのでしょうか。神の民はいつの時代も聖約を交わしてきました。バプテスマの水をくぐるとき、聖なる神権を受けるとき、神殿に参入するとき、聖約を交わしました。わたしたちは、約束をしても守らない民、信じても実行しない民となつてはいないでしょうか。

主の命令に従っているでしょうか。

「主の日が来るまで、あなたがたは聖なる場所に立ち、動かされないようにしなさい。見よ、その日はすぐに来る……。」(教義と聖約 87:8)

わたしたちはさまざまな問題に取り巻かれています(2コリント 4:8-9 参照)。しかし、神への信仰があれば、戒めを守る者に約束された祝福を信じることができます。わたしたちは未来を信じています。そして未来に向かって備えているのです。

主はこうおっしゃいました。「忠実であり、常に祈り、あなたがたのランプの芯を切りそろえて火をともし、油を備えて、花婿が来るときに用意ができていようにしなさい。

見よ、まことに、まことに、あなたがたに言う。わたしはすぐに来る。」(教義と聖約 33:17-18) ■

2004年4月の総大会説教から。



「再臨」の一部 ハリー・アンダーソン画

わたしのクリスマスの贈り物

今年、わたしは救い主に何をささげようか。

ダスティン・ワード

セミナーの中学3年生クラスで、わたしがいつも座るのは一番後ろの席でした。そこなら、友達と話したり、ふざけたりできるからです。そもそもセミナーに登録した理由は、ちょうどその時間、他の授業を取っていなかったからでした。わたしの住んでいる地域では学校の授業時間内にセミナーを行っていて、スクールカウンセラーがわたしに、末日聖徒なので履修したらどうかと提案してくれたのです。教師の名前は知っていましたが、セミナーのクラスで学んだことはそれくらいでした。

ところがある日、友達が欠席し、わたしは困ってしまいました。一緒にふざける相手がいなかったのです。どのようにしてその時間を過ごせばよいのでしょうか。慌てたわたしは、唯一残された選択肢を取りました。つまり、レッスンを聞いたのです。教師の話に耳を傾けたのはそれが初めてでした。

振り返ってみると、その日、教師が言ったことはまったく記憶にありませんが、すっかり夢中になったことは覚えています。翌日、友達は出席しましたが、わたしはふざけずにレッスンに耳を傾け、またしても心を引きつけられました。

そのうち、わたしは教室の後ろの席から移動し、一番前の席に座るようになりました。そこならもっとよく集中して聞けるからです。レッスンの内容や証あかしをする生徒に、強い興味を持たなかったことは一度もありませんでした。

セミナーがあまりにも楽しかったので、翌年も登録しました。わたしは8歳でバプテスマを受けていましたが、教会にきちんと集ったことはありませんでした。しかし、冬休み前の12月のある日、それが一変しました。教師はわたしたちに、クラスの前に立って、今年キリストにどんな贈り物をささげるか発表してくださいと言いました。

発表する人は誰もいないだろうとわたしは思い

ました。ところが、驚いたことに、生徒たちは一人ずつ教室の前に出て行きました。涙を流す人もいました。自分の立てた目標を発表する人や物語を話す人もいました。わたしは信じられませんでした。

時間がなくなっていきました。わたしだけ前に出ていません。わたしはいつの間にか立ち上がっていました。何を話すのか自分でも分かっていませんでした。そして、声を震わせながら「今年、キリストの誕生日をお祝いして、わたしは教会に行き始めます」と言いました。

その日以降、わたしは救い主への贈り物として教会に通い始めました。皮肉なことに、贈り物を受け取ったのはわたしの方でした。教会に戻ったことで人生が一変しました。全ては、話すのをやめて、耳を傾け、御霊みたまが心に触れる十分な余地を作ったその日から始まったのです。

御霊は今でもわたしに語りかけます。わたしのすべきことは、ただ耳を傾け、従うことです。■

筆者はアメリカ合衆国
ユタ州在住です。



前進する備え



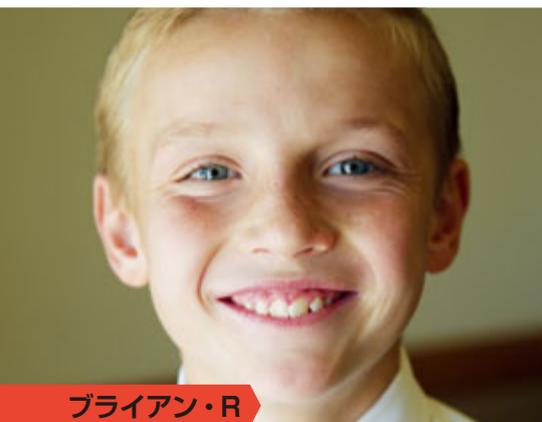
のどか
T・和



ジョシュ・W



グレース・S



ブライアン・R



アイオラとエバリン・V



ジョン・C

もうすぐ初等協会を卒業して、
若い男性や若い女性に上がるみなさん。
みなさんと同じ12才のお友達、
7人からのメッセージを
読んでみてください。

リチャード・M・ロムニー（教会機関誌）
下宮みゆき（日本・東京）

みなさんはもうすぐ12才になりますね。人生には、
たくさんの変化の時期があります。教会では、
みなさんは初等協会から若い男性や若い女性に
上がろうとしています。そうすると、目標を立てたり、奉仕を
したり、神殿に入る準備をしたり、福音についてもっと学
んだりすることになるでしょう。でも、心配はいりません。
みなさんと同じような変化を経験しているお友達が、若い
男性や若い女性は楽しくて素晴らしいと言っていますから。

二人と一緒に

フランスのアイオラ・Vは12才で、ビーハイブです。1か月後に13才になるお姉さんのエバリンも、同じビーハイブです。「お姉ちゃんと一緒にいて、わたしが初等協会から若い女性に上がるのを助けてくれて、うれしいです」とアイオラは言います。

二人が好きなことの一つは「成長するわたし」ですが、目標の一つを読んだとき、二人は笑ってしまいました。楽器を練習してひけるようになることについて書いてあったからです。

「わたしたちはもう何年も楽器をひいています」とエバリンは言います。でも、お母さんと話して、音楽を使って別の目標を達成できることに気づきました。それは奉仕です。

アイオラとエバリンは今、聖餐会やタレントショーで演奏したり、子供たちやお年寄りのためにコンサートを開いたり、宣教師の歌に合わせて伴奏したりするために準備しています。

『「成長するわたし」』はとてもいいと思います。好きなことにも、新しいことにも、両方取り組めるからです」とエバリンは言います。



質問をする

アメリカ合衆国アリゾナ州に住む12才のブライアン・Rは、初めての聖餐のパスの準備をしていました。間ちがえたくなかったので、いろいろと教えてもらうために、同じワードのアロン神権者たちに聞きました。

「みんな、すごくよく助けてくれました。どこに立って、どこに行くか、どうやってトレイをパスするか、全部教えてくれました。」

でも、もっと大切なのは敬虔であることだと教えてもらったブライアンは、次のように言っています。「聖餐を配るとき、救い主を覚えなければなりません。ほくたちが敬虔でいると、他の人も救い主を覚えられるように助けることができます。」

ブライアンは、自分の義務を理解して、きちんと果たせるように、皆喜んで助けてくれることが分かりました。ブライアンはこう言います。「ただ聞いてみればいいんです。初等協会から若い男性に上がるのは、思ったより簡単です。」



新しい友達を作る

「若い女性の顧問のしまいから、初めてステーキの若い女性キャンプにさそわれたとき、とても緊張しました」と、日本のおきなわに住むT・和のどかは言います。「わたしは、いのることにしました。いのった後、平安な気持ちを感じたので、行こうと決めました。」

1日目に、新しい友達ができました。若い女性のみんが、わたしにとってもやさしく、親切にしてくれたので、不安な気持ちはすぐなくなりました。そして、水のろ過の仕方や、結び目の作り方、包帯の巻き方、救急救命法、そして食べられる植物の見つけ方を学びました。

かんげいされていると感じる

「若い女性に初めて出席した日は、ちょうどわたしの誕生日でした」と、アメリカ合衆国アリゾナ州のグレース・Sは言います。「みんなそのことで大きざぎした後、ずっと親切にしてくれました。わたしがかんげいされていると感じられるようにしてくれました。」

アドバイザーのしまいも、グレースをかんげいしてくれました。「自分が若い女性だったときにしたことを話してくれます。それに、『成長するわたし』を一人一人と一緒に読んでくれて、ちゃんと理解しているかどうか確かめてくれます。」

さらに学ぶために調べる

若い男性や若い女性では、
あなたのためにどんなことが用意されているのか、
lds.org/youth?lang=jpn で調べてみましょう。

学び、教え、分かち合う

新しく執事になった、アメリカ合衆国ユタ州のジョシュ・W は、キリストの弟子になることについて、レッスンを教えてほしいとたのまれました。「ペテロたちが魚をとっていたことが書かれた聖文を見つけました。かれらはふねの片側にいて、何もとれませんでした。でも救い主から、ふねの反対側で魚をとるように言われて、それに従うと、たくさん魚がとれました（ルカ5：5－11；ヨハネ21：6－11を見ましょう）。ほくはレッスンの中で、その聖句を読んだから、自分たちに当てはめるとどうなるかについて話しました。ほくたちも、自分の力にたよっていると、問題が起きますが、主の声を聞こうとすると、主は助けてくださいます。」

若い男性では、学ぶこと、教えること、分かち合うことが大切だとジョシュは言います。「初等協会で、ほくたちはたくさん学んで、たくさん活

動をしました。今は、たくさん学んで、そして、たくさん分かち合っています。つまり、学んだことを使って、たくさんのことを行うということです。」例えば、ジョシュは神権会でレッスンを教えた後、長い間教会に来ていない友達の家に行ってみました。「その友達の両親は日曜日に働いているので、教会に来られないんです。でも、友達には、ほくと一緒に教会に行こうと話しました。」

ジョシュは、若い男性や若い女性の目的について学んでいます。「それは、ほくたちに救い主のようになる方法を教えることです」とジョシュは言います。「キリストのもとに来なさい」という呼びかけは、バプテスマと確認で始まった道にそって前進し、神殿に向かって進み続け、永遠の命につながることをジョシュは知っています。

ジョシュは言います。「ほくは、前進する準備ができています。」■



『神への務め』と一緒に取り組む

12 才のジョン・C はよく、お父さんと一緒にプロジェクトに取り組んでいます。例えば、二人はキャンプに行くときに使う毛布にさまざまな布をぬい付けました。その布は、今住んでいるカナダのブリティッシュ・コロンビア州で、二人で参加したキャンプや活動の記念の布です。

「お父さんはとてもよく助けてくれます」とジョンは言います。「お父さんの助けなしに、教会のプロジェクトをやるなんて、想像できません。」

ジョンが12才になったとき、お父さんと二人で『神への務め』の冊子を開いて、読んでみました。その中で、執事のページに「教義を理解する」という項目がありました。「お父さんが、神権のかぎと権能について、ほくに説明してくれました」とジョンは言います。そして、そのおかげで、ジョンは条件の一つをやり終えることができました。

「『神への務め』をするときは、お父さんに助けてもらってください。ほくは今までお父さんに、たくさん助けてもらいました。」



特別な証人

イエスは本当におなくなりになって、 ふたたびよみがえられた のですか？



十二使徒定員会
D・トッド・
クリストファーソン長老

十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
特別な証人です。



そのとおりです。

わたしは、ナザレのイエスが
復活されたあがないの主で
あられることの証人です。



イエスは地球を
つくられました。



主は本当にお
起こされました。



主はふたたび
来られます。



主のめぐみも本当です。
主のめぐみによって、
すべての人がくい改めて、
清くなること
ができるのです。



すべての人が
復活します。

「イエス・キリストの復活」『リアホナ』2014年5月号, 111-114から

「主はよみがえられた」の一部、デル・パーソン画。「目の不自由な人を癒すイエスの一部、カール・ハイリッヒ・プロット画。「昇天」ハリ・アマーン画。「森の罪で連れて来られた女」の一部、ハリ・アマーン画。「花の真実」SALDORF/ISTOCK/THINKSTOCK

わたしたちは すくいぬし イエス・キリストを おぼえ、 れいはいします

エリン・サンダーソンと
ジーン・ビンガム

むかし、天のお父さまは、ご自分のよげんしゃたちに、せかいのすべての人のために、すばらしいおくりものをおくるつもりだとお話されました。そのおくりものは、お父さまのおん子であられる、イエス・キリストでした。イエスは、わたしたちのすくいぬしとしてこのちきゅうに乘られることになっていました。イエスは、わたしたちに天のお父さまのもとに帰るほうほうをしめしてくださいをおかたでした。よげんしゃたちは、イエスが生まれになる時を大きなよろこびをもってまっていました。

てんしがベツレヘムの近くにいたひつじかいたちに、かみのおん子であられる、とくべつなおきな子がお生まれになったことを話すと、ひつじかいたちはとてもよろこび、いそいでおん子に会いに来て、おがみました。

アメリカでは、たいようがしずんでも空がひとばん中明るいを見て、ニーファイ人たちは、イエスが生まれになったことを知りました。かれらもおおきなよろこびをかんじて、おん子というおくりものを下さったことを天のお父さまにかんしゃしました。

わたしたちのじだい、クリスマスのにきにイエス・キリストがお生まれに



せいぶん

・ヨハネ14:6

なったことをおぼえ、おいわいします。すくいぬしというおくりものをよろこびかんしゃする気持ちをあらわすために、イエスのもはんにならい、できるだけたくさんのほうほうで人にあいをしめます。■

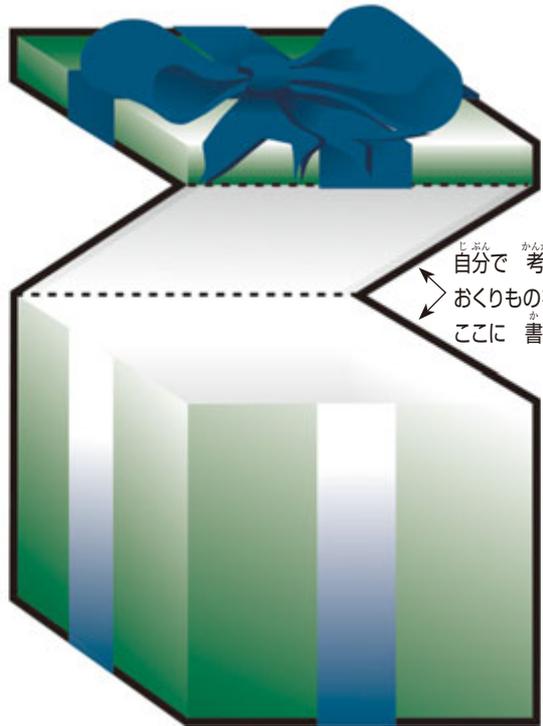
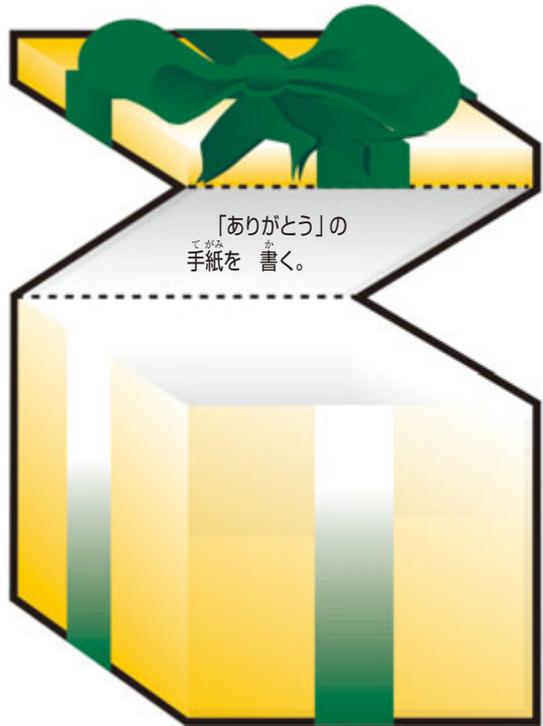
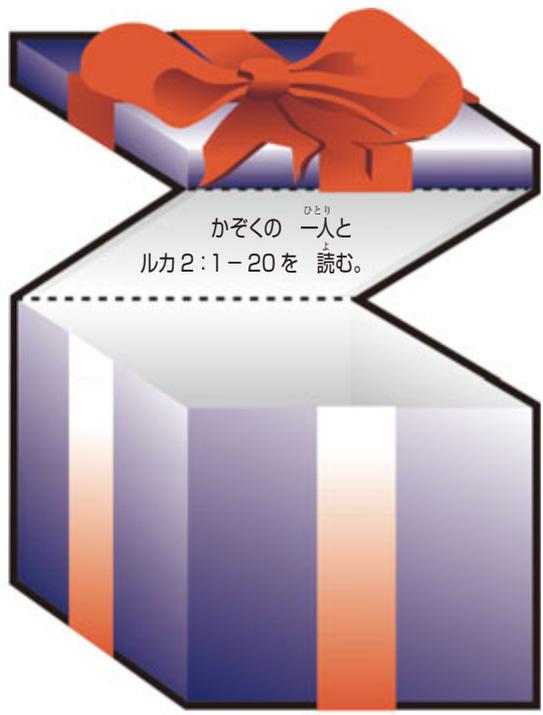
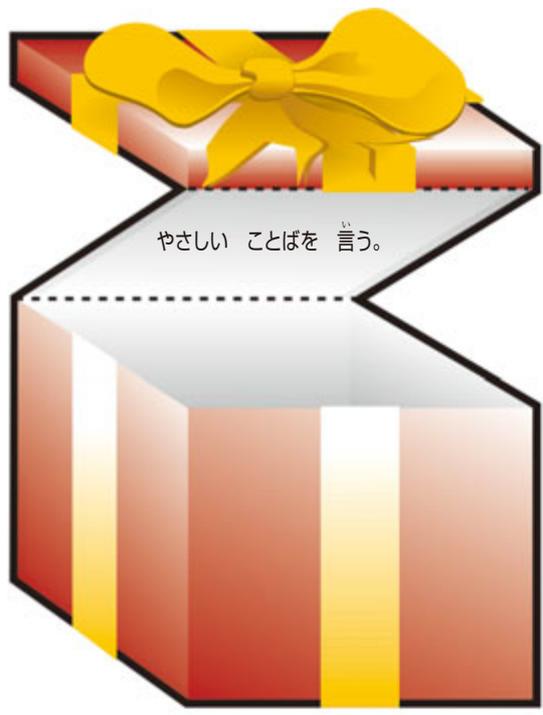
このお話を書いた人はアメリカがっしゅうこく ユタしゅうに すんでいます。

かぞくで話し合うための アイデア

イエス・キリストがあいをしめされたたくさんのほうほうについて話し合います。イエス・キリストのもはんをおぼえ、もはんにしたがうために、12月のあいだ、かぞくみんなで、人にあいをしめすほうほうをいくつかえらびましょう。

あいの おくりもの

直線^{ちよくせん}に そって、おくりもの はこを きりとりします。何も 書かれていない はこには、自分で 考えた おくりものの かつどう を 書いてください。点線^{てんせん}に そって おり、ふたを テープで とめます。おくりもの の 上 の 方 に、パンチで あなを あけて、ひもを 通します。見える ところに、ぶらさげてください。2、3日^{にち}に いちど、「おくりもの」の はこを 一つ あけて、中に 書かれている かつどうを してください。一年中^{いちねんじゅう} いつでも このような おくりものを おくれることを おぼえてください。



liahona.lds.org で にほんご を えらび、この かつどうに つかう 紙を いんさつ できます。



しちじゅうにん
七十人

ブレント・H・
ニールソン長老

ヤンシー



「さて、わたしはあなたがたが
けんそんであり、従順で
すなおであ[る]ように願っている。」
(アルマ7:23)

わたしたちきょうだいは、ずっと馬
がほしくてたまりませんでした。
わたしが9才か10才のころ、お父さん
が、美しく、黒い、めすの馬を買
いました。わたしたちはその馬にヤン
シーという名前を付けました。馬が
手に入って、わたしたちはうれしく
たまりませんでした。この馬は人を
乗せる訓練を受けていませんでした。
わたしたちはまだ子供で、馬を訓練
するという大変な仕事はできなかった
ので、お父さんは馬のことをよく知っ
ている友達にたのんで、ヤンシーの訓

練を助けてもらうことにしました。
わたしたちはよく、ヤンシーを見に
草原に行きました。ヤンシーに乗れ
る日が楽しみで待ち切れませんでした。
でも、だれがどんなにがんばって
も、ヤンシーを訓練することはできま
せませんでした。あまりに頑固だったの
です。結局、わたしたちはヤンシーに
乗ることはできませんでした。

ある日、お父さんの友達がパレ
ードでヤンシーに乗ろうとしました。
その人を乗せたヤンシーが通りを
歩いているとき、突然ヤンシーがそ
の人をふり落して、町中を走り回
り始めたのです。ヤンシーはあまり
にあばれて走り回ったので、消火
こんで足を切ってしまいました。わた
しがヤンシーの後を追いかけると、

いたみに苦しみながら、通りに横た
わっているヤンシーを見つけました。
わたしは悲しく思いました。わた
したちはヤンシーを愛していたか
らです。もしも訓練士に従順だっ
たら、幸せな馬になって、すばらしい
一生を送れたでしょう。でも、ヤン
シーは主人に聞きしたがいません
で。今、けがをして、通りの真ん
中に横たわっています。

わたしは、ヤンシーの話から、わ
たしたちの主である、救い主イエス・
キリストにしたがうときに祝福が来
ることを学びました。わたしたちが
親切で、すなおで、けんそんである
とき、救い主にみちびいていただく
ことができ、幸せになれるのです。■

わたしたちの ページ

去年、わたしたち家族はワードのみんなと一緒に、4日間、スイスの神殿に行きました。土曜日の朝、イタリアに帰って来る前に、にじが出ました。
 サリア・C, 10才 (イタリア)



初等協会の活動で、ファミリーツリーを作りました。
 アルゼンチン、ラス・エラスワード

これは わたしのはじめてのモルモン書です。わたしは少しことばが読めるようになったので、せいぶんを読むことができます。
 アナ・L, 5才 (ブラジル)



去年、わたしたちは初めて、初等協会のせいさん会の発表をしました。発表の1週間前、停電がありました。それでもわたしたちは歌ったり、自分のせりふを言ったりして、練習しました。
 ラオス、ピエンチャン支部



わたしは スウェーデンの ミーナです

ハロー、
ベンネル！*

*スウェーデン語で、「こんにちは、友だちの みなさん！」という しみです。

エイミー・ジェーン・レビットとの
インタビューから

みなさんは 学校の たてものに すみたい
ですか？ ミーナと かぞくは、スウェーデン
の 南の いなかに すんでいます。ミーナの
家は、何年も まえ、学校でした。その 家の
一番 すてきな ところは、たくさんの 人が
入れる 大きな へやが あることだと ミーナ
は 言います。12月になると、ミーナの かぞ
くは、きんじよの 人や、友だちや、しんせきを
家に しょうたいして、とくべつな「歌う 会」
を ひらきます。やく 80人の 人が あつまっ
て、クリスマスキャロルを いっしょに 歌います。
そして、スカンジナビアの さむい 冬の天気
の中を 帰る 前に、おかしを 食べます。■

これは、
家の はたけで とれた
大きな スズッキーニです。

この お話を 書いた 人は、
アメリカがっしゅうこく ユタしゅうに すんでいます。





学校で、教会いんは わたし 一人なので、
友だちに ふくいんを、つたえようと しています。
わたしは よく、学校の 友だちを
初等協会の かつどうの日に つれて 来ます。
わたしも 今、おねえさんたちのように
せんきょうしに なっているということです。

わたしは、トランボリンで
とびはねるのが 大好きです。
ピアノや フルートを
えんそうするのも すきです。

わたしは 10才で、
9人きょうだいの すえっ子です。
二人の おねえさんは、
でんどうに 出ています。
一人は フランスで、もう一人は
ユタしゅうの テンプルスクウェアで
ほうしています。



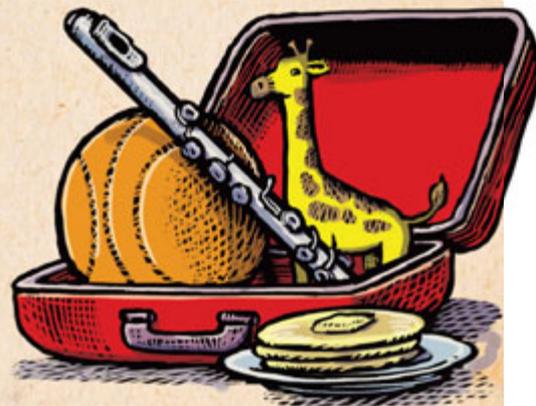
わたしが かぞくと いっしょに する
大好きな ことの一つは、北の 方に ある
スウェーデンの しゅと、ストックホルムに
車で 出かけることです。
そこに すんでいる おじいちゃんや
おばあちゃん、ほかの しんせきに
会いに 行くのが 大好きです。

わたしの かぞくは、
いっしょに およぐのが すきです。
夏に なると、家の 近くの みずうみに 行きます。
冬には、たくさんの プールや
ウォータースライドが ある
おくない しせつに 行きます。



しんでんを 見るのが 大好きです

スウェーデン・ストックホルムしんでんは、
わたしの おじいさんと おばあさんの 家の
近くに あります。わたしに とって、
この しんでんは とくべつです。前に、お父
さんと 二人で しんでんの しきちの ま
わりを 歩いたことが ありました。二人で
しんでんについてや いつか しんでん
の中に入るには どうしたらよいかについて
話しました。



じゅんび オーケー!

ミーナの バッグには ミーナの すきなも
のが 入っています。あなたの バッグに
入れたいものは どれですか?

さいしよ
最初の
クリスマス

ジェン・ウィルクス

かぞくともだち いっしょ
家族や友達と一緒に、
また、初等協会のクラスで、
このげきをすることができます。
じゅんぴするために、
ルカ 2:1-16 を
よ
読んでください。

とうじょうじんぶつ
登場人物

マリヤ

ヨセフ

やどや しゅじん
宿屋の主人

ひつじ
羊かい1

ひつじ
羊かい2

てんし
天使

いしやう
衣装

いしやう かんたん
衣装は簡単なものに

する——

ヨセフにはローブ、

マリヤにはスカーフ、

ひつじ
羊かいにはつえ



こどうぐ
小道具

かいばおけ——

ふた もうふ
二つのいすに毛布をかける

ひつじ
羊——

ちい
小さなまくら

おさな子イエス——

にんぎやう
人形、または
まる
丸めた毛布



うた 歌——「ベツレヘムへの旅」1番
(『子供の歌集』22-23)

マリヤ——早く、とまる所を見つけられるといいのだけれど。もう随分長く、旅を続けているわ。



アイデア——登場人物と一緒に、観客に歌ってもらおう。

ヨセフ——あそこに宿屋がある。とまれる所があるかどうか、たしかめて来るから、その間、ここで休んで待っていて。

〔ヨセフはマリヤがすわるのを手伝えてから、「ドア」をたたく。宿屋の主人が答える。〕

宿屋の主人——何の用ですか。

ヨセフ——とまる場所をさがしています。つまとわたしは、長旅をして来て、とまる場所が必要なんです。

宿屋の主人——すみませんが、部屋はいっぱいなんです。

ヨセフ——どうか、助けてもらえませんか。つまにはもうすぐ子供が生まれるんです。

宿屋の主人——馬屋ならとまれるでしょう。そこしかないんですよ。

ヨセフ——ありがとうございます。ご親切に感謝します。

〔ヨセフ、マリヤのところにもどり、立ち上がるのを助ける。〕

ヨセフ——宿屋には空きがないけれど、宿屋の主人が、馬屋なら

とまっていいと言ってくれたよ。

マリヤ——ああ、今晚とまれる場所が見つかって、本当によかったわ。

〔二人は馬屋に歩いて行く。マリヤとヨセフ、すわる。場面、とじる。〕

うた 歌——「ベツレヘムへの旅」2番 (『子供の歌集』22-23)



〔羊かいたち、羊の番をしている。天使があらわれる。羊かいたち、ひざまずき、ひれふす。〕

羊かい1——あなたはだれですか？

羊かい2——どうか、わたしたちをひどい目にあわせないでください。

天使——おそれるな。わたしは喜びのおとずれを伝える。今晚、神のおん子がベツレヘムでお生まれになった。あなたがたは、おさな子がかいばおけの中になかしてあ

るのを見るだろう。

羊かい1——さあ、そのおさな子を見に行こう。

天使——いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。

うた 歌——「星の光る夜に」(『子供の歌集』24)

〔羊かいたちは宿屋に行き、「ドア」をたたく。宿屋の主人が、出て来る。〕

羊かい2——わたしたちは、おさな子キリストに会いに参りました。

羊かい1——天使がわたしたちに、おさな子がかいばおけの中にねかせてであると告げました。

羊かい2——おさな子は今どこにおられるか、知っていますか？

宿屋の主人——今晚、うちの馬屋で子供が生まれました。案内しましょう。

〔羊かいたちが宿屋の主人の後に、ついて、馬屋に行く。おさな子イエスがねているかいばおけの横にヨセフとマリヤがすわっている。〕

羊かい1——本当だ。天使が言ったとおり、かいばおけの中に、本当におさな子がねむっておられる。

羊かい2——本当にこのお方こそ、救い主、主キリストだ。

〔羊かいと宿屋の主人、かいばおけの周りにひざまずく。〕

うた 歌——「聖し、この夜」(『賛美歌』118)。

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



中を見てください!



ソフィア・C, 9才 (ブラジル)

お父さんとお母さんは、クリスマス
の前に、だれかにプレゼントする
ためにモルモン書がたくさん入った箱を
買いました。そのときわたしは、モルモ
ン書を学校に持って行き、3人の先生
にプレゼントしようと思いつきました。

おんがくしつ おんがく せんせい
音楽室に行く、音楽の先生のすが
たが見えたので、わたしは心の中
こう言いました。「さあ、ソフィア。モル
モン書を先生にあげるのよ。」わたし
はゆっくりと先生に近づきましたが、勇
気がなくて、モルモン書をプレゼントす

ることができませんでした。

わたしは部屋のすみに行って、とて
も静かにいれました。「天のお父
様、この本を先生にわたせるように助
けてください。」おいのりが終わったと
き、必ず先生にモルモン書をわたすべ
きだと、とても強く感じました。する
と突然、勇気がわいてきました。

わたしが先生のところに行くと、先生
がわたしを見ました。わたしはモルモ
ン書をわたして、「先生、わたしは先生
のことを心の底から愛しています。だ
から、このモルモン書を先生にプレゼ
ントしたいと思います」と言いました。

先生はそれを手に取って、表紙を見
ました。「中を見てください!」とわたし
が言うと、先生は、わたしが本の中に書
いた短いメッセージを見てくれました。

先生はわたしをだきしめて「ああ、ソ
フィア、この本をわたしにプレゼントして
くれて、ありがとう!」と言ってくれました。

わたしが席にすわると、先生はクラス
のみんなに向かって、こう言いました。
「ソフィアがわたしにプレゼントしてくれ
た物を見てください。わたしはお休
みの間、これを読もうと思います。」

家に帰ると、わたしはお母さんのと
ころに走って行き、「ねえ、ねえ! わた
し、先生にモルモン書をあげたのよ!」
と言いました。

すると、お母さんはにっこりして、言
いました。「それはすばらしいことね!
あなたはわたしのすばらしいもはんだ
わ、ソフィア。」

わたしたちは、先生にモルモン書を
プレゼントする勇気をあたえてくださ
ったことについて、神様に感謝のいのり
をささげることにしました。■

ダビデとゴリアテ

サムエルき じょう 17しやう

この ページを あつ紙や だんボールに はりましょう。
人の 形に 切り, 工作用の ぼうや 紙ぶくろに
つけます。それを つかって, あなたの すきな 旧約聖書の
ものがたりの げきを してみましょう。■



ゴリアテ



ダビデ



ダビデ

毎日 少しの

プレゼントは ぜんぶ、ラッピングをして、ツリーの 下に おいてありました。
本当に そうでしょうか？

ケート・ストロンギン

本当に あった お話を もとに 書かれました。

「メリー・クリスマス！

よろこびを まきちらそう！」

（“Have a very merry Christmas!

Scatter gladness ev'rywhere!”

Children's Songbook

『子供の歌集』(英語) 51)

もうすぐ クリスマスです。アマリーは わくわくしていました。あと少ししたら、ツリーの 下の プレゼントを あげることが できるのですから。

その日の かていの 夕べの レッスンに、お母さんの 番でした。

「どうして クリスマスには プレゼントを あげるのかしら？」と お母

さんが 聞きました。

「イエスキリストのおたんじょう日だからよ！」アマリーが 答えました。

「じゃあ、イエスキリストにおくりものをした方が いいんじゃない？」お母さんが 聞きました。

お父さんに たすけてもらいながら、アマリーの 弟の ノアが せいぶんを 読みました。人の ために 何かをしてあげて つかえるとき、かみさまのために つかえるのと 同じだと 書いてありました(モーサヤ2:17を見ましょう)。

「だれかのために 何かをしてあげて つかえることは、イエスキリストにおくりものをしていうこと？」とお母さんが 聞きました。

ノアが、うなずきました。

「ほかには どうかしら？」

「いましめを まもること」と、アマリーが 言いました。

「やさしくすること」と、ノアが 言いました。

「よく 考えられたわね」とお母さん。「じゃあ、ゲームを しましょう。これから、ある人が イエスキリストに あげた おくりものを 言うので、それが だれなのかを 当ててね。はじめるわよ。この 人は、ケアセンターで、クリスマスカードを くばりました。」

ノアが 手を 上げて、答えました。「アマリーだ。」

「この 人は、ホームティーチングに行きました。」



クリスマス

「お父さんだわ」と、アマリー。
 あっという間に、これまで自分たちがすくいぬしにさしあげたたくさんのおくりものの名前がありました。
 「毎日おくりものを作ることができるわね」とお母さんが言いました。
 次の日の朝は、家をそうじする日でした。「あーあ。」アマリーは、いやそうな声を出しました。でも、そのとき思い出したのです。人のために何かしてあげてつかえることは、イエスさまへのおくりものだと、いうことを。もしもお母さんを手つだうたら、それはイエスさまを手つだうのと、同じことなのです。アマリーは

ぬのを見つけて、ピカピカになるまで、カウンターをみがきました。
 つぎの日、アマリーは少しお金をもらいました。
 「あなたがおさめるじゅうぶんの一は、8セント(やく8円)よ」とお母さんが言いました。
 アマリーは、また思い出しました。じゅうぶんの一も、いましめです。それをおさめることも、イエスさまへのおくりものになるのです。アマリーは、じゅうぶんの一を入れるびんに8セントを入れました。
 同じ週の何日か後で、アマリーはクッションをひろい上げました。赤ちゃんの弟が、ソファからおとしたのです。「これもイエスさま

へのおくりものだわ」と言いながらひろいました。
 クリスマスイブの日、お父さんとお母さんがアマリーのことをとてもほこりに思っているとつたえてくれました。「アマリーはこの1週間ずっと、イエスさまにおくりものをしてくれたね。おかげで毎日少しずつクリスマスをおいわいしているようだったね」と、お父さんが言ってくれたのです。■
 このお話を書いた人は、アメリカがっしゅうこくユタしゅうにすんでいます。





十二使徒定員会
メルビン・J・バラード長老
(1873-1939年)

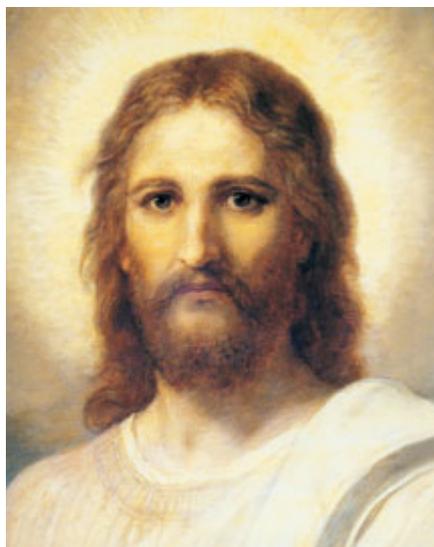
主が 生きておられることを 知っています

そのとき感じた気持ちを味わえるなら、
現在の自分と将来の自分を
全て差し出しても惜しくないと思うほどです。

天の御父は、愛する御子、御父の
尊い御子という賜物^{たまもの}をわたした
ちに下さいましたが、それは御父にとっ
てどれほど大きな犠牲であったかと、
わたしはよく考えます。御子は世の
人々を非常に深く愛しておられたので、
御自分の命をお捨てになりました。
それは世を贖い^{あがな}、人類を救い、現世に
生きるわたしたちに霊的な糧を与え、
永遠の来世とともに住めるようにわた
したちを備えるためでした。……

わたしには決して忘れられない経験
があります。[救い主の]死、救い主が
十字架上で亡くなられ、復活された
ことが真実であるという証^{あかし}を心に刻み
込まれた経験です。……

ある晩、夢の中で、わたしは聖なる
建物である神殿にいました。しばらく
の間、祈り、喜びにあふれていると、
一つの部屋に入り、栄光ある御方に
謁見できると告げられました。そこで
部屋の扉を開けると、壇上に座ってお
られる御方が見えました。その御方は



わたしが今まで見たことがないほど、
そして永遠の世界におられる御方と
してわたしが想像していた中で、最も
栄光に満ちた御方でした。

わたしが名乗ろうと思って近づくと、
その御方はお立ちになり、両手を差し
伸べながらわたしの方に歩み寄って
来られました。それからほほえみか
け、優しくわたしの名を呼ばれました。
もしこの地上に百万年生きたとして
も、あのほほえみは決して忘れないで
しょう。主はわたしを両腕で包み込
み、せっぷんし、強く抱き締め、祝福し
てくださいました。わたしは骨の髄ま
で溶けてしまうのではないかと思った
ほどでした。祝福が終わると、わたし
は主の足元にひれ伏し、その足を涙で
ぬらしながらせっぷんしました。世の

贖い主の足にくぎ跡があるのが見え
ました。万物を治めておられる贖い主
の前にあって、主の愛と慈しみと祝福
を受けたときの気持ちはこの上なく、
この夢の中で前もって味わった経験を
実際にできるなら、そのために現在の
自分と将来の自分を全て差し出しても
惜しくないと思うほどでした。

……今、わたしの目に映るイエスは
十字架上の姿ではありません。額にい
ばらが刺さり、両手にくぎが打ち込まれ
ている姿ではありません。ほほえみ、
両手を差し伸べ、全ての人にこう言っ
ておられる姿です。「わたしのもとへ来
なさい。」■

大文字は標準的な用法に合わせてあります [英文]。

ブライアント・S・ヒンクレイ、*Sermons and
Missionary Services of Melvin Joseph
Ballard (1949年), 147-157; Classic
Discourses from the General Authorities:
The Sacramental Covenant, New Era,
1976年1月号, 7-11 (再版) から引用*

洞 察



どのような点でイエス・キリストは世の光なのでしょうか。

「〔イエス・キリスト〕は現世における母マリヤと全能の神であられる御父からお生まれになったベツレヘムの光です。……主はゲツセマネの園とゴルゴタの上において成就された贖いの光であって、全人類が永遠の救いにあずかれるように世の罪を御自身に受けられました。主は、空になった墓の光であって、栄光を受けた骨肉の体をお持ちの復活された主であり、死の縄目を断たれ、墓に対して永遠の勝利を収められた御方です。……主はわたしとそして皆さんの光であり、贖い主であり、救い主です。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

あらゆる難問への 答え

ウークトドルフ管長は、自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみよう勧めています。自分の疑いを疑い、信仰をもって前進するにはどうしたらよいでしょうか。



44
ページ

青少年

救い主と^{せいさん}聖餐

聖餐を準備したり、祝福したり、配ったり、受けたりしている間、どんなことを考えるべきでしょうか。



48
ページ

子ども

^{さいしよ}最初の クリスマス

こうたんげきをえんじること、イエスさまがお生まれになった時のことをよく考えましょう。



74
ページ

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



10992 300